

NU7

National University Seven

国立七大学の総合情報誌

2026.5 No.65

講演録

地図から読む地域の歴史

＝歴史地理学による身近な地域の景観史＝

京都大学大学院人間・環境学研究科教授 山村 亜希

七大学情報

令和7年度 七大学卒業式の情景

学士会

目次



NU7

National University Seven

国立七大学の総合情報誌



Web 版『NU7』の歩きかた

- ✓ URL・記事タイトル・青字をクリック（タップ）で、該当ページまたは外部サイトに移動します。
- ✓ メールアドレスをクリック（タップ）で、メールアプリが開きます。
- ✓ ページ下部の操作ボタンで、前後・目次・表紙・最終ページに移動できます。
- ✓ 個人利用の範囲で、ご自由に印刷していただけます。

SAMPLE

告知

学士会 講演会

日時 20XX年 月X日（金）19:00～

場所 XX 講堂

演題 「XXXX」

講師 XX 氏（XX 大学教授）

参加費 3,000 円

＼クリック！／

申込 [専用フォーム](#)よりお申し込みください。

申込期限 X月X日（火）

問い合わせ koho@gakushikai.or.jp

公式サイト <https://www.gakushikai.or.jp/>

※詳細は [Web サイト](#)をご確認ください。

表紙へ 前のページへ 目次へ 次のページへ 最終ページへ



目次



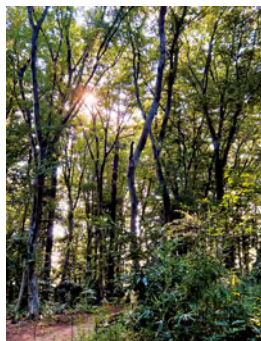
ぜひ、ご活用ください！



目次



7 LECTURE	関西茶話会（2025年10月4日（土）開催） 「地図から読む地域の歴史 —歴史地理学による身近な地域の景観史— 山村 亜希（京都大学大学院人間・環境学研究科教授）	01
<hr/>		
7 UNIV.	七大学情報 七大学生協書籍ランキング 39	09
<hr/>		
7 ALUMNI	同窓会案内・開催報告	17
<hr/>		
7 ALUMNI	名古屋大学農学部・生命農学研究科同窓会（セコイア会） 第28回関東支部総会 特別講演 「農学から発信される異分野融合・国際協働研究 —Agricultural Spectroscopyの展開—」土川 寛 「食による前未病・超早期未病の予防・治療 ～農業から医療まで一体となつての持続可能な健康長寿社会～」安達 貴弘	22
<hr/>		
7 MEMBERS	会員通信 会員活動報告 「キリンビール横浜工場見学記」堀 智裕 会員著作物紹介 30/原稿募集のご案内 31	29
<hr/>		
7 NEWS	学生会だより 32 学生会「Web名簿閲覧システム」ご利用の手引き 37	
<hr/>		
7 STAFFs	編集委員コラム 41	
<hr/>		
7 NEWS JOIN US!	学生会 学生会員募集のご案内 学生会の紹介	巻末 カラー



表紙写真・石井竜一 会員（京大農修農昭62

「散歩」

場所:千葉県流山市(松ヶ丘3号散策の森)

令和7年度

七大学 卒業式 の 情景

今春も、多くの卒業生・修了生の皆様が学び舎を巣立ちました。各大学の開催報告やアーカイブ動画、総長からの告辞は、リンクからWebサイトをご覧ください。

北海道大学



学位記授与式

3月25日(水)
26日(木)



会場 第一体育館、第二体育館、
プレミアホテル -CABIN PRESIDENT- 函館

学部卒業生数 2,479名 大学院修了生数 1,930名*

*修士1,540名、専門職84名、博士306名

web [開催報告](#) / [総長告辞](#)

東北大学



3月25日(水)

学位記授与式



会場 ゼビオアリーナ仙台

学部卒業生数 2,318名 大学院修了生数 2,315名*

*修士・専門職1,824名、博士(課程修了)481名、博士(論文提出)10名

web [アーカイブ動画](#) / [開催報告](#) / [総長告辞](#)

東京大学



3月24日(火)
25日(水)

卒業式・学位記授与式



会場 安田講堂大講堂

学部卒業生数 3,100名 大学院修了生数 4,815名

web [開催報告](#) [卒業式](#)・[学位記授与式](#) / [総長告辞](#)



目次



名古屋大学

春季卒業式



会場 豊田講堂
学部卒業生数 2,149名 **大学院修了生数** 1,973名
web [オンデマンド動画](#) / [開催報告](#)

京都大学

卒業式・学位授与式



会場 京都市勤業館みやこめっせ
学部卒業生数 2,765名 **大学院修了生数** 3,056名
web [アーカイブ動画](#) / [開催報告](#) [卒業式](#)・[学位授与式](#) / [総長式辞](#)

大阪大学

卒業式・大学院学位記授与式



会場 大阪城ホール
学部卒業生数 3,292名 **大学院修了生数** 2,685名
web [開催報告](#) / [総長式辞](#)

九州大学

学位記授与式



会場 椎木講堂
学部卒業生数 2,605名 **大学院修了生数** 2,285名
web [アーカイブ動画](#) / [開催報告](#) / [総長告辞](#)



目次



会員ギャラリー



SHOT ON UMIDIGI F3 5G
48MP AI TRIPLE CAMERA

パイナップル

渡辺幸重 会員（東大・教養・昭49）



目次





月桃の花

渡辺幸重 会員（東大・教養・昭49）



開催日 2025年10月4日(土)

会場 京都大学楽友会館

地図から読む地域の歴史 —歴史地理学による身近な地域の景観史—

やまむら あき
山村 亜希

京都大学大学院人間・環境学研究科教授

● PROFILE ●

京都大学大学院文学研究科地理学専修博士課程修了、博士(京都大学・文学)。京都大学総合博物館助手、愛知県立大学講師・准教授を経て、京都大学大学院人間・環境学研究科教授。専門は歴史地理学で、特に、鎌倉・室町・戦国・江戸期の都市(城下町・港町・宿場町など)の景観史を研究テーマとしている。主著は、『中世都市の空間構造』吉川弘文館、2009年。NHK『プラタモリ』にも案内人として出演(名古屋・熱田、酒田、駿府、東海道57次)。

今日は歴史地理学の視点から京都大学のある吉田周辺の景観史を読み解きます。京大で連綿と続けられてきた読図という手法や、景観観察・フィールドワークを通して、地域固有の歴史を見出す試みです。

人文地理学は空間・地域・場所を通じて人間・社会のあり方を考える学問です。その一つの分野である歴史地理学の対象時期は過去ですが、忘れてはいけないのは、過去は現在の基盤であるという当たり前の事実です。それは、過去の結果として現在を捉え直すことにつながります。

今日は3つの問いを立て、それに答える形で進めていきます。

- ① 京大は、なぜ京都の中でも吉田に立地するのか？
- ② 京大の近くの斜めの道には、どのような意味があるのか？
- ③ 京大以前には吉田はどのような地域で、現在にその歴史はどのように影響しているのか？



1. 京都大学の立地

①京大は、なぜ京都の中でも吉田に立地するのか？

明治23(1890)年の地形図(図1)に、平行四辺形の敷地が見えます。当時ここは第三高等中学校の敷地でした。その後、三高(旧制第三高等学校)になり、帝国大学に敷地を譲ります。現在の京大の本部構内に相当する場所です。

京大の前身は洛外に建てられた

第三高等中学校が吉田に設置された明治22(1889)年頃、京都の政治家は強い危機感を抱いていました。東京と大阪が近代化を進めていた一方で、古都・京都は天皇という政治的な核を失ったうえ、近代化の波に乗り遅れるのではないかという不安です。

明治22(1889)年 第三高等中学校の新校舎、吉田に完成
→京都の近代化、洛外への市街拡大の先駆け
* 1890年 琵琶湖疏水第一分線、完成

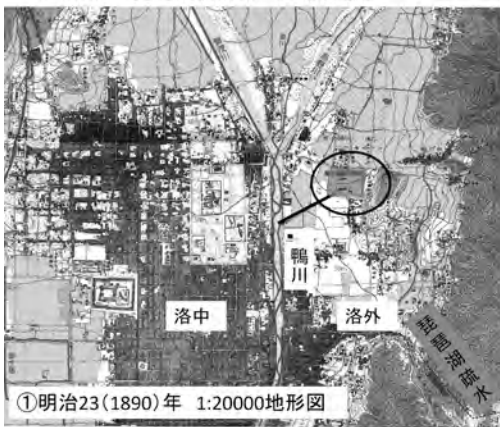


図1

第三高等中学校は、当時の京都の市街地の外にあります。図1で黒く塗られた明治の京都の市街地は、鴨川を越えませんが、吉田を含む鴨東^{おうとう}と呼ばれる鴨川の東部一帯は、今は市街地ですが当時は農地が広がる農村地帯でした。第三高等中学校が市街地拡大の先駆けとなったように読めます。当時の京都の市街地を「洛中」とするならば、吉田を含む鴨東地区は「洛外」でした。

京都東北部の基本地形は扇状地

なぜ京大の前身施設は洛中ではなく、洛外に置かれたのでしょうか。ここからは、地形図で地形を読んでいきます。

京都東北部はいくつもの等高線が等間隔に円弧を描く扇状地という斜面地形です。京都東北部は、賀茂川と高野川によって形成された2つの扇状地による複合扇状地といえます。他にも白川などのいくつかの小規模河川が扇状地を成しています。

扇状地は山から平野への転換点に、繰り返し土、砂、礫が堆積することで形成されます。堆積の過程で勾配が緩やかになり、等高線が扇形に開くのです。

砂礫層は水を透過するため、水は岩盤(不透過層)まで落ち、地下水となって扇状地の末端まで流れます。明治23年の地形図によると、賀茂川と高野川の河道の一部区間には水が流れていませんでした。水無川の区間では水は伏流しています。水無川は扇状地によく見られる地形です。

扇状地の灌漑と水田化

保水能力の低い扇状地の土砂では、一般的に水田耕作は困難とされます。一方で、斜面の傾斜を利用して灌漑を整備することは容易であり、明治期には扇状地上の京都東北部は既に水田が広く展開していました（[図1](#)）。京都は長らく首都でしたから、その近郊農村にはいち早く最先端の技術が導入されたものと思われます。

吉田は例外的な畑・荒地

その一方で、[図1](#)では、吉田の第三高等中学校の南は、京都近郊では例外的に水田化されておらず、広い面積の畑・荒地が残されていました。

これは高野川と賀茂川の奥にある白川的作用によるものです。白川は比叡山から流れ、現在では吉田山の手前で南に曲がります。しかし、旧来の白川は、吉田山の北をまっすぐに進み、吉田を横断していました。

第三高等中学校の敷地を横断する小さな川が地形図に描かれていますが、これは白川の旧河道の一つです。今も暗渠になって本部構内の地下を流れています。河道が変わった大きな理由は、吉田山の西麓を南北に走る花折断層の隆起でしょう。

吉田には、白川の旧流路による堆積で扇状地が形成されました。砂礫層が厚く、灌漑技術でも水田化することが難しかったと思われます。そのため、広い範囲で畑や荒地が残されたのです。



図2

「古都の近代化」重点地区

日本は江戸時代以来、稲作偏重の社会で、明治時代でも水田を潰してまで新しい施設を建てることはあまりありません。畑か荒地があるなら、水田よりも優先的に開発します。

ようやく、京大が吉田に立地する理由が見えてきました。明治期の京都近郊の土地の多くは水田化されていましたが、それでもなお条件不利地域では畑や荒地がパッチワーク状に残されていました。京都が近代化を志したとき、そのままとった面積の畑や荒地が西洋化した新施設を設置する土地として都合が良かったと考えます。

大正4（1915）年の地図（[図2](#)）を見ると、京大の南に三高、医大、一中、病院、工場、疏水、平安神宮、動物園、博覧会場が集中して立地します。これらはすべて「古都の近代化」に関連する施設群です。つまり、京大の吉田への立地もその一環であったと考えられ



ます。

正確には、吉田の開発は明治期の近代化が最初ではありません。京大本部構内は幕末に置かれた尾張藩邸の跡地です。明治維新と共に藩邸も撤去され、再び吉田は畑や荒地となり、「古都の近代化」で再開されたのです。

2. 斜めの道の意味

②京大の近くの斜めの道には、どのような意味があるのか？

大正4(1915)年の地形図(図3)を見ると、京大の南西の角から鴨川に向かって斜めの道が伸びています。東西南北の碁盤目状道路を基本とする京都では、例外的な斜めの道です。



図3

なぜ斜めなのかを考えるために、道の行き先を考えます。斜めの道から仮想線を伸ばすと、京大の北東角に道の続きが現れます。この道は、少し向きを変えて白川村を通って、山中越に続

きます。元の道を寸断する形で京大の敷地がとられ、斜めの道がその両端に残されたことがうかがえます。

慶応4(1868)年の「京都細見図」(図4)を見ると、尾張藩邸の頃に既に斜めの道があります。幕末に置かれた尾張藩邸が斜めの白川道を寸断したことが分かります。



図4

織田信長の斜めの道

斜めの道は白川道ともいいますが、現在、「志賀越道^{しがごえみち}」という道路標示も設置されています。志賀は山を越えた向こうにある滋賀県の湖西の地名です。つまり、この道は山中越えをして近江に抜ける街道でした。

面白い説があります。私が京大生だった頃に「人文地理学」の講義で聞いた足利健亮^{あしかげんりょう}先生の説です。論文に



なっていませんので、講義を受けた者だけが知る幻の説です。

足利説では、斜めの道の行き先は志賀ではなく、琵琶湖の向こうの安土城（織田信長の居城）だといいます。安土から琵琶湖を横断して坂本に上陸し、將軍足利義昭の二条城に向かうために建設した短絡路の一部であるという説です。斜めの道が信長の戦略の一環だと思えば魅力的な説ですが、今では若干の修正の必要があります。

斜めの道は旧河道？

京大では構内に施設を建てる際に発掘調査を行います。斜めの道の道路痕跡も出土しています。問題は年代です。足利説では16世紀後半に信長が新設したといいます。それ以前の遺物も多数出土しています。敷設自体は10世紀前半、平安京の時代ですが、道の原型は前からあったはずで

というのも、斜めの道は白川の旧河

道にきれいに沿っています。砂礫層の厚い扇状地なので、畑になる前は原野のような状況でしょう。そのような場所に道を作るならば、水が流れて植生が少ないところを伝っていくのが簡単です。旧河道が道として利用されるのは自然なこと。そうであれば、信長は道を新設したのではなく軍道として整備し利用したことになります。

吉田は近江への玄関口

では、なぜ幕末に街道を潰して尾張藩邸を建てたのでしょうか。当時も主要街道だったならば尾張藩も潰しはしませんから、既にその地位は低下していたはず。代わりに利用されたのが今の出町柳駅から百万遍に至り、白川道に至るルートです。幕末には斜めの道の近江への街道の地位は低下していたものと思われます。

より広い範囲で見れば、江戸時代に京都から近江へ抜ける主要街道は、





図 5

もっと南の三条から山科を經由し大津に至る東海道です。一方で、それよりも古い信長の時代には、志賀越道のような北側のルートがメインだったのかもしれない。京都から東国へのルートとして、志賀越道は案外早い段階から主要街道としての地位を低下させていたのでしょう。

山中越は、今でも滋賀から京都への往来で混雑する需要の高い道です。斜めの道は、京大付近が信長の時代までの京都にとって近江への玄関口だったという、この土地の性格を表す道といえます。

それを物語る道標が、東山東一条交差点にあります(図5)。宝永6(1709)年の建立で「右 さかもと からさき 白川の道 / 左 百まんべんの道」と書かれています。道標の前に立った人は、ここから近江に向かって越えていくという気持ちになったことでしょう。

18c後~19c初「山城国吉田村古図」(京都大学総合博物館)



吉田山には神社のみならず、多数の寺院: 神仏習合

図 6

3. 江戸時代の吉田村

③京大以前には吉田はどのような地域で、現在にその歴史はどのように影響しているのか？

尾張藩邸建設以前の吉田を描く「山城国吉田村古図」という村絵図(図6)から考えてみましょう。

右側の山体が吉田山です。中に吉田神社があり、春日社や斎場所大元宮という別の社、当時は神仏習合なので寺院や坊院群も見えます。京大以前の吉田の核は吉田神社であり、吉田は社家町^{けまち}といって神職の人々が住む場所でした。

春日社と大元宮にはそれぞれ参道があります。春日社に向かう北参道は今の表参道で、砂利道の真ん中に仕切りのような松並木があります。一方、大元宮に向かう南参道は、北参道より太く立派な道です。





春日社と北参道

現在吉田神社と呼ばれるのが春日社です。平安遷都の際に藤原摂関家が氏神である大和の春日社を吉田山の山麓に勧請したのがルーツです。

藤原氏の長者は吉田神社に神馬を奉納しており、流鏑馬^{やぶさめ}神事を行う馬場が必要でした。それが北参道の砂利道です。当時「春日の馬場」と呼ばれ、北側に馬場北という地名もあります。松並木は馬場だった頃の中央分離帯の名残りと考えられます。

大元宮と南参道

一方、北参道より広く、社家町のただ中を進む立派な道が南参道です。南参道の先にある大元宮には、春日社とは異なる歴史があります。

応仁の乱の後、春日社の宮司・神主職だった吉田兼俱^{かねとも}は、吉田神道（唯一神道）を提唱しました。大元宮を総本山とし、ここに参れば八百万の神に詣

でたのと同じ効能があるとして庶民の信仰を集めました。大元宮は八角殿というユニークな建築で、まわりの小さな社に全国の神々が祀られています。南参道は儀式用の馬場であった北参道と違い、人が通るために造られたということです。

北参道に比べて南参道の知名度は低いですが、参道とその周囲の雰囲気はよく残っています。行き止まりなのに異常に幅の広い道です。

坊院群の転用と痕跡

寺院や坊院群は廃仏毀釈の中でなくなりましたが、参道のインフラは残っています。その一つとして、道沿いに作られた石垣は、民家の築地に転用されています。そこに刻まれた文字から天保9(1838)年に筑前国住人が寄進したことが分かります。大元宮の信仰は遠く九州まで及んだことが分かります。

また、断層によって盛り上がった吉



田山は、洛中からアクセスの良い低山であるにもかかわらず、京都市内を一望できる眺望の良さが魅力でした。廃仏毀釈でなくなった吉田山山頂の坊院跡地には、東洋花壇という料亭もできました。土地の持つ性格や価値は、時代が変わっても転用されるのです。

4. 場所の歴史

人文地理学では、人々が愛着を持つ土地を「場所」と呼びます。吉田にも「場所」があります。

江戸時代、吉田の西側の一帯は鴨川に近い氾濫原で、水路が乱流する水田地帯でした。そこを流れる水路の一つが弥勒川です。

弥勒川は、近くに石弥勒堂があり、土の中に埋もれたあと再興されて石地蔵を安置したことが由来であるという記述が、貞享3(1686)年の『雍州府志』にあります。先ほどの「吉田村古図」にも弥勒堂の描写があるので、その現在地に行ってみました。

そこは京大の医学部構内で、今では弥勒堂はありません。その代わりに、現代的なキャンパスの中、巨木にしめ縄をまわした異質な空間がありました。根元には石地蔵が何体も置かれています(図7)。ここは「油掛地蔵」と呼ばれ、巨木の伐採はタブーとされ、医学部では定期的に見回って清掃し、お盆には僧侶を呼んで供養しているとのことでした。



図7

弥勒堂がなくなり、景観が一変しても、場所の持つ神聖性は生きています。これこそが「場所」です。形や風景、人々が移り変わろうとも、土地に連続と残されていくものがあるのです。

5. おわりに

歴史が重層的に積み重なった結果、現在の地域が存在します。まちづくり・地域おこしを考えるとき、このような重層的な地域の成り立ちをふまえると、より一層、地域の魅力を際立たせることができるでしょう。

参考：

山村垂希「吉田神社と共存する京都大学」(上杉和央・加藤政洋編『[地図で楽しむ京都の近代](#)』風媒社、2019年)





告知内容は変更となる場合があります。最新情報は各 Web サイトをご確認ください。

北海道大学

<https://www.hokudai.ac.jp/>

告知

第 68 回 北大祭

期間 6月5日(金)～7日(日)

形態 対面

場所 北海道大学 札幌キャンパス全域

テーマ 星譜

※詳細は [Web サイト](#) をご確認ください。

報告

北海道大学産学・地域協働推進機構は台湾デザイン研究院等と MOU を締結しました

2025年12月5日(金)、国際デザイン学会連合国際会議「IASDR (The International Association of Societies of Design Research)」の2025年年次会議 (IASDR2025) の開催に合わせて、北海道大学産学・地域協働推進機構は、台湾デザイン研究院をはじめとする国際的なデザイン関連機関と、包括的な連携に関する Memorandum of Understanding (MOU) を締結しました。同日、調印式が行われ、今後の国際連携に向けた協力関係を正式に確認しました。この MOU は、IASDR2025 を通じて構築されたネットワークを基盤とし、国境を越えたデザイン分野の継続的な対話と協働の促進を目的としています。この MOU を起点に、今後はより具体的な、分野やテーマに応じた個別連携の検討も予定されています。

サイエンスフェスタ 2025 が開催されました

2025年12月20日(土)・21日(日)の2日間、札幌駅前通地下広場とさっぽろ創世スクエア1階 on ちゃんテラスにて「新価値創造」をテーマに開催され、多くの来場者で賑わいました。ステージイベントでは学生が研究や活動への思いを発表した後、中高生、社会人、研究者、教員が登壇し、世代を超えた取り組みが紹介されました。北海道大学創基150周年に向けた特別企画「みんなの壮志を教えてプロジェクト」では、記念フラッグに来場者がそれぞれの「壮志」を書き込みました。また、メイン企画「研究成果でSDGsに貢献する発表会」では、博士後期課程学生が自身の研究が社会課題の解決にどうつながるかをポスターで紹介しました。学生と市民とで活発な対話があり、学生にとっても貴重な発信の場となりました。

コラーゲンの質量分析により遺跡から出土したワニ類の同定に成功しました

北海道大学大学院理学院博士後期課程の田中望羽氏と北大総合博物館教授の江田真毅氏・小林快次氏らの研究グループは、骨中コラーゲンの質量分析による動物骨同定法 (ZooMS) をワニ類に初めて適用し、遺跡出土のワニ骨をヨウスコウワニと特定することに成功しました。本研



究では、まず東アジアに生息するヨウスコウワニ、イリエワニ、マレーガビアルの3種について骨中コラーゲンの質量分析を実施、各種に特徴的なペプチドピークを見出し、識別基準を作成しました。続いて、この基準を中国浙江省の長江デルタ地域に位置する田螺山遺跡（約7,000～5,500年前）から出土したワニ類の骨8点に適用した結果、いずれもヨウスコウワニに由来することが明らかになりました。

現在、同地域にはワニ類は生息していませんが、過去の温暖な気候下では生息していた可能性があります。本研究成果は、骨中コラーゲンの質量分析がワニ類にも適用できることを示すとともに、遺跡出土のワニ骨の種が特定されることで、

東アジアにおける生息域と古代中国での文化的利用の解明に寄与するものと期待されます。

北海道大学創基 150周年 記念グッズが完成しました

2026年、北海道大学は創基150周年という大きな節目を迎えます。この記念の年を彩る「北海道大学創基150周年記念オリジナルグッズ」が完成し、3月9日（月）より北大生協協会館店で先行販売が開始されました。日常で使いやすいシンプルなデザインに、150周年ロゴをさりげなくあしらった限定アイテムです。

ラインナップ Tシャツ、トートバッグ、ボールペン、ウッドキーホルダー、ケータイマグ

東 北 大 学

<https://www.tohoku.ac.jp/>

告 白

「2026年度東北大学国際功労賞」 の候補者をご推薦ください

推薦対象

原則として、東北大学の同窓生又は過去に東北大学で勤務経験を有する等、日本国内外に居住する東北大にゆかりのある者の中で、多様な分野（学問・文化・ビジネス・芸術・社会活動等）において顕著な業績を上げることで東北大の国際的プレゼンスの向上に貢献を果たした者。

推薦方法

[Webサイト](#)をご覧ください。専用フォームからご推薦ください（他薦のみ）。なお、ご本人の同意を得た上での推薦をお願いいたします。

推薦期限 5月8日（金）日本時間23:00

問い合わせ [東北大学基金・校友事業室](#)
[校友係](#)

※詳細は [Webサイト](#) をご確認ください。

報 告

東北大学病院開設 110周年 記念グッズの販売を開始しました

東北大学病院は2025年で110周年を迎えました。これを記念し、同病院の広報誌「[へっそ](#)」の寄附付きグッズを製作、同院内にて販売を開始しました。記念グッズの売上の一部は同病院への寄附となり、新たな医療の研究・開発、医療スタッフの育成、医療体制の整備・充実などに活用されます。

ラインナップ マグカップ、トートバッグ、ダイカットキーホルダー各種

国際卓越研究大学 UREX1 フォーラム 2026 が開催されました

2月27日（金）、東京・丸の内丸の内マルキューブにて、「東北大学国際卓越研究大学 UREX1 フォーラム 2026 -Explore Your Unknown-」が開催されました。このイベントは、国際卓越研究大学として世界に開かれた研究拠点を目指す東北大学の歩みと未来像を社会に広く発信する



目的で開催され、多くの一般の方やビジネスパーソンの来場がありました。

同フォーラムは「語られる知」と「見える知」の二部構成で展開されました。トークセッションでは、パトリック・ハーラン氏とロバート・キャンベル氏、映像ディレクターの高橋弘樹氏らをゲストに迎え、富永悌二総長や東北大の若手研究者とともに、天文学から言語学、社会実装まで多角的な視点で「知の探求」について議論を交わしました。併設された展示「東北に息づく知のロマン」では、先人たちの言葉を通じて東北大学の「研究第一」の精神と挑戦の軌跡が紹介されました。

社会的孤立に関わる遺伝的背景が東アジアで初めて解明されました

人とのつながりは、家庭や職場、地域などの社会的な環境によって形成されると考えられてきましたが、同じ環境下で

も家族や友人とのつながりの広がり方には個人差があります。こうした差の要因を明らかにするため、東北大学東北メディカル・メガバンク機構分子疫学分野教授・栗山進一氏らの研究グループは、日本人6万人以上を対象に遺伝情報を用いた大規模解析を行いました。

本研究では、家族や友人とのやりとりの頻度や人数を質問票で数値化し、その情報と数百万カ所に及ぶ遺伝情報を統計的に照合するゲノムワイド関連解析を実施しました。その結果、社会的孤立に関連する遺伝的特徴が見出され、脳や神経の働きに関わる遺伝子の関与が示唆されました。一方で、社会的孤立にみられる個人差の大部分は遺伝以外の要因で説明できることも分かりました。遺伝の寄与は小さいものの、環境要因に加えて生物学的な個人差も関与することが示されました。本研究成果により、「孤立しやすさ」の理解促進が期待されます。

東京大学

<https://www.u-tokyo.ac.jp/>

お知らせ

第99回 五月祭

期間 5月16日(土)・17日(日)

形態 対面・一部オンラインあり

場所 東京大学 本郷・弥生キャンパス

テーマ 「好き」が芽吹くとき。

※詳細は [Webサイト](#) をご確認ください。

東大駒場リサーチキャンパス公開2026

期間 6月5日(金)・6日(土)

場所 [東京大学駒場リサーチキャンパス](#)

前回の様子 [開催報告／レポート](#)

※詳細は [Webサイト](#) をご確認ください。

お知らせ

大江健三郎氏の未発表小説が発見されました

3月2日(月)、東京大学大学院人文社

会系研究科および文学部が記者会見し、[大江健三郎文庫](#)に寄託された資料から、東大出身の作家・大江健三郎氏(1935-2023)による未発表小説2篇(「暗い部屋からの旅行」「旅への試み」)が確認されたと発表しました。「暗い部屋からの旅行」(1955年執筆、原稿用紙82枚)は現存する大江氏の小説として最も古い作品であり、「旅への試み」(1957年執筆、原稿用紙42枚)は文芸誌デビューの「死者の奢り」「他人の足」とほぼ同時期に執筆された作品です。ともに大江文学の初期作品を理解するうえで貴重な資料です。

両作品の自筆原稿のデジタル画像は3月6日(金)から大江健三郎文庫で研究者を対象に閲覧可能になっており、全文は講談社より同日発売の[文芸誌『群像』2026年4月号](#)に掲載されています。



尿検査で食物アレルギー反応を客観的に評価する新手法が開発されました

食物アレルギーの患者数は世界的に増加傾向にあり、特に子どものQOL（生活の質）に重大な影響を及ぼしています。東京大学大学院農学生命科学研究科准教授の村田幸久氏らと国立成育医療研究センターなどによる共同研究グループは、尿中のプロスタグランジン D₂ (PGD₂) 代謝物を測定することで、食物アレルギーの反応を客観的に評価できる新たな検査法「酵素免疫測定法 (EIA)」を開発しました。

食物アレルギーの診断において、実際にアレルゲンを摂取する「経口食物負荷試験 (OFC)」は不可欠ですが、症状の判断は医師の目視などに依存しており、客観的な数値指標が求められていました。研究グループは、これまで高度な分析装置 (LC-MS/MS) が必要だった代謝物測定を、病院等で実施可能な EIA 法で実

現し、臨床における有用性を証明しました。本手法は痛みを伴う処置が困難な子どもにとって大きな利点があり、将来的に実用化されれば、アレルギー医療をより客観的かつ安全にする強力なツールとなることが期待されます。

総合研究博物館が佐賀県と「吉野ヶ里遺跡出土品利活用に関する連携協定」を締結しました

東京大学総合研究博物館は、2026年度より佐賀県と新たに連携協定を締結し、圧倒的な数量を誇る吉野ヶ里遺跡等の出土品を収蔵したまま見せる新たな収蔵モデル（「魅せる」収蔵庫）に挑戦します。本協定は、東大総合研究博物館が持つ高度な専門知識、設備、研究力を生かした共同研究を行い、「魅せる」収蔵庫に係る基本構想・基本計画を策定するとともに、東大が行う吉野ヶ里遺跡出土品の先端的分析研究について連携・協力することを目的としています。

名古屋大学

<https://www.nagoya-u.ac.jp/>

告知

野外観察園サテライト展示 「博物館友の会写真サークル写真展」

期間 開催中～5月15日（金）

時間 11:00～16:00

場所 名古屋大学東山キャンパス
[野外観察園セミナーハウス](#) 2階

休園日 土・日・祝

入場料 無料

※詳細は [Web サイト](#) をご確認ください。

TEDxNagoyaU 2026

TED から認可を受けて活動している非営利団体「[TEDxNagoyaU](#)」が2026年のメインイベントを開催します。今回のテーマは「energy flow」。TED形式のプレゼンやワークショップ、交流を通じて、新しい価値観を広げましょう！

日時 5月4日（月・祝）9:30～20:00

場所 [名古屋大学東山キャンパス](#)
豊田講堂・ES 総合館

登壇者

ATSUKI 氏（ポップスバイオリニスト）、
稲垣哲也氏（名古屋大学大学院生命農
学研究科准教授）など

使用言語 日本語

参加費

高校生以下 無料
大学生・大学院生 500円
社会人 1,500円

アフターパーティーに参加する方は、
年齢にかかわらず、別途700円をお支
払いください。

申込 [Web サイト](#) よりお申し込みください。

※詳細は [Web サイト](#) をご確認ください。



第 67 回 名大祭

期 間

6月11日(木)～14日(日)
フリーマーケットは13日(土)・14日(日)のみ開催

場 所 名古屋大学東山キャンパス

テーマ Squall

※詳細は [Web サイト](#) をご確認ください。

報 告

大学院人文学研究科教授・日比嘉高氏が第 38 回和辻哲郎文化賞を受賞しました

2月10日(火)、第38回和辻哲郎文化賞の受賞者が発表され、一般部門にて大学院人文学研究科教授・日比嘉高氏の受賞が決定しました。対象となった著作は『帝国の書店 書物が編んだ近代日本の知のネットワーク』(岩波書店刊)で、外地書店と書物取次を通路として、戦前の大日本帝国における人とモノと知が織り成す文化的機構を検証し、ワールド・ヒストリーへの新たな基軸を立てた点などが評価されました。

同賞は、和辻哲郎(1889-1960)の業績とその今日的意義を探り、研究者の育成および市民の文化水準の向上に資するため、姫路市によって創設されました。一般部門は、文化一般における優れた著作に与えられるものです。

痛みと暑さを避けるために重要な脂質が発見されました

体に害をもたらす痛みや温度を避けることは、命を守る上でとても重要です。従来の研究では、人の体にある物理的な接触や温度変化を感じるセンサーが発見されていましたが、センサーの機能がどのように正常に保たれているか、詳細は分かっていませんでした。

生理学研究所准教授・曾我部隆彰氏および特任助教・水藤拓人氏(在職当時)、名古屋大学大学院理学研究科教授・内橋貴之氏らの研究チームは、これまで感覚機能の研究で注目されてこなかった脂質に着目しました。感覚センサーは感覚神経や脳に多く存在していることから、感覚機能に関わる脂質もその付近に分布している可能性が高いと考えられたため、ショウジョウバエの幼虫を用いた実験を行い、エーテルリン脂質(ePL)の合成に欠かせない酵素の1つであるAGPSが、感覚神経や脳に多く存在していることを確認しました。それを踏まえ、ePLの有無の影響を調べるため、接触刺激と温度刺激の応答を確かめる実験を行った結果、ePLを持たない幼虫は逃避行動が弱くなることが明らかになりました。今後、人の感覚機能の劣化を防ぐための新しい医療技術の開発に繋がることが期待されます。

京 都 大 学

<https://www.kyoto-u.ac.jp/>

報 告 知

京都大学総合博物館企画展 文化財発掘Ⅱ「模型からみる文化遺産」

本展では、明治時代末から昭和10年代にかけて製作された模型に焦点を当て、考古資料の記録・研究・普及において果たした役割を解き明かします。

期 間 開催中～6月14日(日)

時 間 9:30～16:30(入館16:00まで)

場 所 [京都大学総合博物館](#)

休館日 月・火

入場料 一般400円 大学生300円

※詳細は [Web サイト](#) をご確認ください。

第 152 回京都大学丸の内セミナー「自己集合科学の新しい世界」

日 時 6月5日(金) 18:00～19:30

形 態 ハイブリッド(現地・Zoomウェビナーによるオンライン配信)



場所 京都大学東京オフィス
対象 どなたでもご参加いただけます。
講師 上杉志成氏（高等研究院物質—細胞統合システム拠点長・化学研究所教授）

参加費 無料
申込 [Web サイト](#)よりお申し込みください。

申込期限 定員に達し次第、受付を締め切ります。

※詳細は [Web サイト](#)をご確認ください。

報 告

北川進氏らに京都市名誉市民の称号が贈られました

2月16日（月）、京都市本庁舎市会議場にて、2025年ノーベル化学賞を受賞した理事・副学長で高等研究院特別教授の北川進氏が、同じくノーベル生理学・医学賞を受賞した名誉教授・大阪大学特別栄誉教授の坂口志文氏とともに同称号を贈られました。贈呈式には約200名が列席し、市長の松井孝治氏から賞状とメダル、蒔絵があしらわれた盾を手渡されました。北川氏は贈呈後の挨拶で、若い世代に対し「できるだけ貪欲に、自分で体験して教養を身につけてほしい」と述べました。

思春期のメンタルヘルス増進プログラムの共同開発に関する協定を締結しました

2月19日（木）、京都大学ならびに東

京都と東京都医学総合研究所は、東京都庁にて、思春期の子どもを対象としたメンタルヘルス増進プログラムを開発することを目的に協定を締結しました。本協定により、思春期の子どもがメンタルヘルスのレジリエンススキル（状況の変化に対し適応・転換しながら回復していく能力）を身につけることができるプログラムを共同開発し、科学的知見に基づいて都内中高生のメンタルヘルスの落ち込みを予防することを目指します。

パーキンソン病に対するiPS細胞由来ドーパミン神経前駆細胞の製造販売承認を取得しました

京都大学医学部附属病院では、2018年8月より、iPS細胞から作製したドーパミン神経前駆細胞を用いたパーキンソン病の治療に関する医師主導治験を実施してきました。その結果をもとに、住友ファーマ(株)は(株) [RACTHERA](#) の協力で製造販売承認を申請し、3月6日（金）、世界初の再生医療等製品として、非自己iPS細胞由来ドーパミン神経前駆細胞「アムシェプリ」（一般的名称：ラグネプロセル）が製造販売承認（条件及び期限付承認）を取得しました。

今回は「条件及び期限付承認」であり、今後は実際の医療現場で本製品を使用しながら、有効性と安全性についてさらに慎重に確認していく段階となります。まずは限定的な形で開始し、長期的な臨床評価を行っていく予定です。

大阪大学

<https://www.osaka-u.ac.jp/>

報 告 知

特別展「DOEFF アートな体躯 顕微鏡画像が映し出す阪大医学研究のフロンティア」

大阪大学大学院医学系研究科の広報誌『DOEFF』。ヒトやマウスの顕微鏡画像を効果的に使った表紙と巻頭記事「アート

な体躯^{からだ}」が誌面を飛び出し、特別展として登場しました。文字どおり“アート”として提示されたこれらの作品は、時には大自然の絶景、時にはアヴァンギャルドな絵画のように、私たちの想像力を刺激します。



期間 開催中～7月11日(土)
時間 10:30～17:00
休館日 日・祝
場所 大阪大学総合学術博物館
待兼山修学館 3階多目的室

入場料 無料

※詳細は [Web サイト](#) をご確認ください。

カフェテリア・アゴラ展示企画 「都市の眼差しと息づかい 赤松麟作『大阪三十六景』より」

本展では、画家・赤松麟作(1878-1953)が見つめた大阪の表情と、背後に重なる都市の記憶を紹介します。

期間 開催中～2027年2月(予定)

時間 8:30～21:30

場所 大阪大学中之島センター2階
カフェテリア・アゴラ

入場料 無料

※詳細は [Web サイト](#) をご確認ください。

大学院理学研究科公開講座 「サイエンスナイト2026」

開催日 全6講義／5月20日(水)、6月17日(水)、7月15日(水)、10月21日(水)、11月18日(水)、12月16日(水)

時間 18:00～19:30

形態 ハイブリッド
(現地・アーカイブ配信)

場所 大阪大学豊中キャンパス
理学J棟2階 南部陽一郎ホール

対象 どなたでもご参加いただけます。

参加費

全6講義すべて受講 6,600円

1講義～数講義を選択受講 1,600円
(1講義あたり)

申込 [Web サイト](#) の専用フォームよりお申し込みください。

※詳細は [Web サイト](#) をご確認ください。

報 告

「坂口^{しもん}文 大阪大学特別栄誉教授 ノーベル生理学・医学賞受賞記念 祝賀会」が開催されました

2月18日(水)、リーガロイヤルホテル大阪にて開催され、約130名の大阪大学関係者が招待されました。熊ノ郷淳^{くまのこうじゆん}総長による発起人挨拶^{ふちがみ}に始まり、文部科学省研究振興局局長の淵上孝^{ふちのこうたけし}氏からの祝辞の後、記念品と花束の贈呈が行われました。その後、坂口氏からの謝辞^{しやんじ}があり、日本医療研究開発機構理事長の中釜^{なかがま}齊^{ひとし}氏より乾杯のご発声^{はつせい}をいただきました。最後に、西尾章治郎前総長からの閉会の辞で、祝賀会は盛会裏に終了しました。

「血管と神経の連携」が寒冷環境での免疫応答を左右することが明らかになりました

大阪大学大学院医学系研究科呼吸器・免疫内科学特任助教(常勤)の水野裕美子氏、先端免疫臨床応用学共同研究講座研究員の松下浩明氏、熊ノ郷淳^{くまのこうじゆん}総長(当時は呼吸器・免疫内科学教授)らの研究グループは、血管内皮細胞の「セマフォリン6D」という物質が交感神経の量を調節し、寒い環境で免疫が正常に働く鍵分子になっていることを世界で初めて発見しました。

関節リウマチや多発性硬化症などの自己免疫疾患は、寒冷環境で悪化することが多いことが知られていましたが、その理由と詳細は分かっていませんでした。今回、研究グループは、血管内皮細胞にセマフォリン6Dがない場合、交感神経が増えすぎることを発見しました。その結果、寒冷環境で交感神経が過剰に活性化し、組織が低酸素状態になり、免疫が正常に働かなくなることが明らかになりました。本研究成果により、環境温度が自己免疫疾患へ影響を与えるメカニズムの1つが明らかになりました。



■ 報告 知

次期総長予定者が決定しました

2月19日(木)、九州大学総長選考・監察会議により赤司浩一氏(副学長・特任教授)が選出されました。次期総長の任期は、2026年10月1日から2032年9月30日までの6年間で、再任はありません。

※詳細は [Web サイト](#) をご確認ください。

フジギャラリーミニ展示
「陸に上がった沿岸生態系」

九州大学総合研究博物館助教・加藤萌氏を含む研究グループは、2024年元日に発生した能登半島地震(M7.6)によって生じた国内最大級の沿岸隆起(最大約4.4m)により陸上に露出した沿岸生物相を詳細に調査し、その成果を研究論文として公表しました。本展示では、調査内容や研究成果を解説するパネル、実物標本を展示します。

期間 開催中～5月29日(金)

時間 10:00～17:00

休館日 土・日・祝(5月16日、17日、23日、24日は開館)

場所 九州大学伊都キャンパス

[フジギャラリー](#)

入場料 無料

※詳細は [Web サイト](#) をご確認ください。

九州大学大学文書館は
移転準備のため休館します

休館期間 5月1日(金)～

2027年3月31日(水)

リニューアルオープン時期 2027年4月予定

移転先 伊都キャンパス

備考 休館期間中は、各種サービスおよび問い合わせ対応が休止となります。

※詳細は [Web サイト](#) をご確認ください。

■ 報告 告

遺跡の土壌から過去の人のDNAが
明らかになりました

古人骨のDNA分析は、人々の移動や拡散の歴史解明に貢献してきましたが、骨が残りにくい高温多湿地域では解析が困難という課題がありました。近年、古代DNA解析技術の進展により、洞窟遺跡に住んでいた人々のDNAが遺跡の土壌に含まれることが明らかにされましたが、DNAが何に由来するかなど、十分な検討が行われていませんでした。

本研究では、沖縄県の勝連城跡から発掘された古人骨周辺の土壌と、北海道の北見市大島2遺跡5号堅穴の土壌を採取し、DNAを抽出・解読しました。前者の土壌からはヒトDNAが検出される一方で、堅穴住居の土壌からはほとんど検出されませんでした。本研究成果により、骨が残っていないような遺跡でも、土壌から埋葬されていた人の遺伝情報を明らかにできる可能性が示されました。また、文化財保護や倫理的制約がある場合の代替手法としても期待されます。

サステナブル水素研究所が設立されました

4月1日(水)、九州大学は水素分野における豊富な実績、設備、人材を統合し、水素の製造・輸送・貯蔵、利用から社会実装までを見据えた研究拠点として「サステナブル水素研究所(Hydrogen Institute for Sustainability/略称HYDRO-GENIUS)」を設立しました。本研究所は、九大の水素関連3センターの統合により、分野を横断した基礎研究から実用化研究までの連携加速、戦略策定と意思決定の迅速化を図るものです。

同窓会案内・開催報告

告知内容は変更となる場合があります。最新情報は各 Web サイトをご確認ください。

七大学同窓会共通

報告

本気になれば人生は変わる —— 巣鴨会の活動紹介 (34)

3月、巣鴨会（旧七帝大系交流会）は講演会「モノマネ芸人のホンモノ論」を行いました。

1. 講演会について

3月7日(土)、東京・六本木の「[SAKURA ROPPONGI](#)」でモノマネ芸人・企業コンサルタントのアントキの猪木さんを講師に迎えて講演会を行いました。公務員時代に言われた印象深い言葉、本物のアントニオ猪木さんと対面したときのエピソードなどが披露されたのち、「闘魂リテラシー」と題した講演が行われました。この講演では、「常識から1ミリでもいいから踏み出せ」といった人生哲学が熱く語られ、闘魂注入の場となりました。

講演の後に行われた懇親会ではアントキ

の猪木さんが参加者一人一人に声をかける姿が見られ、多くの方から感謝の声が寄せられていました。

Information: [アントキの猪木さんのプロフィール](#)

2. 幹事団より

(1) アントキの猪木さんは、登場から場を温められ、芸能界で生き続けている力をあらためて感じました。講演内容は公務員・芸人・実業家と様々な面からのお話やアントニオ猪木さんのお言葉など、どれも胸を打たれるものばかりでした。印象に残ったのは質疑応答の際、講演会のためにアントキの猪木さんのDVDを全て観たという方がいらっしやったことです。参加者の熱量も素晴らしいと思いました。

幹事団の皆様、ご参加くださった皆様、本当にありがとうございます。

(平野こまりさん/声優・ナレーター)

Information: [平野さん Instagram](#)



1・2・3・ダー!



講演の様子 (左: 猪木さん、右: 平野さん)

(2) 熱い「闘魂」と、経営者としての俯瞰した視点をもって、アントキの猪木さんがどのように今までの人生を闘ってきたのかを、愉快痛快にお話いただき、翻って自分はどうか、という宿題をお土産としていただけた講演でした。

また、懇親会では、アントキの猪木さんが、全ての参加者の方に、自分の仕事や夢

を舞台上で語る機会もくださり、その機転がまた勉強になりました。

(松井愛佳さん/ライフプランナー)

3. お問い合わせについて

巣鴨会へのお問い合わせや入会申請は[久保](#)までお願いいたします。

報告・問い合わせ：久保真一 会員

(九大・法・平15)

北海道大学同窓会

<https://www.alumni-hokudai.jp/>

報告

恵迪寮改修 1 億円募金が始まりました

期間 2026 年 2 月～2027 年 3 月
(恵迪寮改修完了まで延長あり)

募金名称 北大フロンティア基金・
恵迪寮改修募金

目標金額 1 億円

使途 屋上防水・外壁塗装、電気ガス・
給排水・衛生設備等配管工事および
居住環境改善、共用スペース整備
等の改修費用

申込 [Web サイト](#)をご覧ください。北大フロンティア基金の申込フォームよりお申し込みください。

※詳細は [Web サイト](#)をご確認ください。

報告

第 15 回商大・北大応援交流新年会 2026 が開催されました

2 月 3 日(火)、札幌市の三川屋会館 7 階にて開催され、小樽商科大学 28 名、北海道大学 16 名、計 44 名の参加がありました。

東北大学同窓会

<https://shuyukai-tohoku-u.net/>

報告

東北大学フォーラム 2026 in 福岡が開催されました

1 月 25 日(日)、福岡市の大名カンファレンスおよびオンライン配信のハイブリッド形式で開催されました。当日は、富永悌二

当日は、商大応援団後援会会長・八尾稔啓氏の開会挨拶に続き、北海道延齢会会長・千川浩治氏が挨拶と乾杯の発声を行いました。歓談後のスピーチでは、両校の応援団員が登場し、自己紹介エールの後、今年の抱負を述べました。商大学長(当時)穴沢真氏のスピーチでは、在任中の楽しい思い出として、[資金清博](#)総長とともに観戦した対面式の思い出に触れました。

札幌農学同窓会関西支部 2026 年 通常総会・講演会が開催されました

2 月 15 日(日)、JR 新大阪駅前の大阪ガーデンパレスで開催され、通常総会 26 名、講演会 30 名、懇親会 20 名の参加がありました。当日は通常総会の後、札幌本部事務局長の久田徳二氏より、オンラインにて「北大創基 150 周年企画」の紹介がありました。講演会では、「農学を学んだ僕が『男女』を歌い、G ジャンを縫うまで」と題して、ダンジョデニム代表・福川太郎氏(応用生命科学科、平 15)にお話しいただき、農学部から音楽、そして職人へという予測不能な人生について率直に語っていただきました。



neering」と題したご講演がありました。当日の配布資料とアーカイブ動画を[特設ページ](#)で掲載中です。

東北大学女子校友会「紫蘭会」大隅典子教授退職記念講演会が開催されました

3月4日(水)、東北大学片平北門会館エスパスで、紫蘭会・DEI推進センター主催により開催され、同窓生・大学関係者など

80名程度の参加がありました。3月をもって大学院医学系研究科教授を退官される大隅氏から「ダイバーシティのススメと科学コミュニケーション」と題してお話しいただいた後、経済学部同窓生・白川由利枝氏の司会で質疑応答を行いました。懇親会も、大隅氏を囲んで和やかで笑顔あふれる会となりました。[紫蘭会 Web サイト](#)にて当日の資料と動画を公開中です。

東京大学同窓会

<https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/alumni/alum-community/>

告知

東京銀杏会 第32回定時総会

日時 5月20日(水) 18:00~20:00
場所 ホテルルポール麴町3階エメラルド
参加費
会員 7,000円
新会員(昨年度総会以降に入会) 5,000円
新卒者など 3,000円
非会員 8,000円

申込 [Web サイト](#)をご覧くださいの上、電話/FAX/メールにてお申し込みください。

申込期限 5月13日(水)

※詳細は [Web サイト](#) をご確認ください。

報告

東京大学150周年記念チャリティコンサート「安田講堂で奏でる〈イマジンコンサート〉」が開催されました

2月15日(日)、東京大学安田講堂にて開催され、1,000名以上の来場がありました。このコンサートは、卒業生ミュージシャンを迎えて開催する150周年記念イベントとして企画されたもので、第1回目はシンガーソングライターの加藤登紀子氏(文・昭43)とピアニストの横山幸雄氏、東大卒

業生オーケストラが出演しました。第1部は、横山氏と東大卒業生オーケストラによるラフマニノフのピアノ協奏曲第2番やトークセッション、第2部ではNHK「映像の世紀」の主題曲「パリは燃えているか」に加藤氏が詩を朗読する演目や「百万本のバラ」「愛の讃歌」などが披露され、時の経つのも忘れてしまう圧巻のステージでした。

2025年度第3回銀杏懇話会が開催されました

3月5日(木)、東京・四ツ谷の主婦会館プラザエフにて開催されました。講師には、東京大学教授・危機管理担当副学長の岡部徹氏をお迎えし、「レアメタルと日本の安全保障」をテーマにご講演いただきました。岡部氏はチタンを中心に35年以上レアメタル研究に携わり、世界各地の鉱山や精錬所を訪れながら研究を進めてこられました。レアメタルとは、非鉄金属のうちアルミニウムや銅のような大量生産金属を除いたものを指し、電子機器やモーターに広く使われます。一方で、レアメタルの採掘や精錬には大きな環境負荷が伴うため、資源と環境の両面から考える必要性があると指摘されました。

名古屋大学同窓会

<https://www.nual.nagoya-u.ac.jp/>

告知

名古屋大学共晶会 関東支部総会

日時 10月3日(土) 11:00~14:00

場所 貸切ダイニングバー ^{ガッセ}Gasse (目黒)
参加費 5,000円

※詳細は [Web サイト](#) をご確認ください。



報告

名古屋大学全学同窓会エジプト支部が設立されました

2月15日(日)、エジプト・タンタ大学(Tanta University)にて、名古屋大学全学同窓会エジプト支部の設立総会が開催され、

杉山直^{なほし}総長や現地同窓生、タンタ大学関係者など約50名の参加がありました。今回設立されたエジプト支部は18番目の海外支部となります。アフリカ地域で初の支部設立であり、今後、新たな海外拠点の形成につながる事が期待されています。

京都大学同窓会

<http://hp.alumni.kyoto-u.ac.jp/>

報告

スイス洛友会設立総会・懇親会が開催されました

2月6日(金)、スイス・チューリッヒ大学自然史博物館にて開催され、スイス在住の卒業生と留学中の学生、湊長博^{みなとながひろ}総長など京大関係者、計46名の参加がありました。会長の清水健太郎氏(理学研究科・平14)の開会挨拶に続き、湊総長からの挨拶があり、その後、参加者による自己紹介がありました。講演会では、理事・副学長の稲垣恭子氏から「京都大学のいま、これから—DEIBの視点から—」と題し、DEIBをめぐる昨今の動向と京都大学の取り組みについて説明がありました。次に、エッセイストでジャーナリストの長坂道子氏(文・昭59)から「文学は何の役に立つのか」と題したお話がありました。懇親会では、参加者間で共通の話題に花が咲いたり、館内を散策したりと、思い思いの時間を楽しみました。

滋賀県京都大学同窓会定時総会・懇親会が開催されました

2月7日(土)、草津市内のホテルにて開催され、過去最多となる39名の参加がありました。会長の品川峰範氏(公共政策教育部・平24修了)による開会挨拶と、会計幹

事の山田浄志氏(経・平8)による事業・会計報告の後、会員でシャンソン歌手の井内良三氏(文・昭59)による歌唱が披露されました。情念と魂の込められた歌声が響き渡る中、参加者は終始熱心に聴き入っていました。懇親会では、参加者一人ひとりが主人公であるという会の方針のもと、全員が自己紹介を行い、参加者相互の理解と親睦が深まりました。

地球物理学教室同窓会「京大知球会」が開催されました

2月14日(土)、京都大学吉田キャンパス理学研究科セミナーハウスでオンライン併用にて開催され、対面56名、オンライン41名の参加がありました。講演会では、3月で定年退職される理学研究科教授・向川均氏(理学研究科・昭60)から「異常気象を伴う大気循環偏差の形成メカニズムと予測可能性」と題した講演があり、続いて新任教員3名による自己紹介を兼ねた講演が行われました。記念特別講演として、尾池和夫元京大総長(理学研究科・昭38)より「活断層のリスクと恩恵～京都盆地に生まれた変動帯の文化～」と題したお話もあり、懇親会では、向川氏と尾池元総長に縁のある参加者から思い出などが語られました。

大阪大学同窓会

https://www.osaka-u.ac.jp/ja/campus/alumni/AAF_OU/top

告知

待文会講座「懐徳堂 素晴らしき学び舎を顕彰する」

日時 5月16日(土) 14:00~15:30

場所 大阪大学中之島センター
3階セミナー室

講師 宮川康子氏(京都産業大学名誉教授、哲学cafe懐徳堂主催)



共催 大阪大学文学部
参加費 無料
申込 専用フォームよりお申し込みください。
申込期限 5月13日(水)
※詳細は [Webサイト](#) をご確認ください。

大阪大学交響楽団 第127回定期演奏会

開催日 7月4日(土)
場所 [豊中市立文化芸術センター](#)
客演指揮 粟辻聡氏
曲目

スメタナ／連作交響詩『わが祖国』より
「シャルカ」
モーツァルト／交響曲第40番ト短調
ドヴォルザーク／交響曲第7番ニ短調
※詳細は [Webサイト](#) をご確認ください。

報告

大阪大学ファミリー 2025 オンライン交流会が開催されました

1月29日(木)・31日(土)にオンライン形式で開催され、海外在住者を含む約90

名の参加がありました。本交流会は、阪大の卒業生・修了生や教職員など「阪大ファミリー」がオンライン上で交流を深めることを目的としたイベントで、今回で6回目の開催です。当日は、熊ノ郷淳^{くまの ごうあつし} 総長からのメッセージ動画をご覧いただいた後、2グループに分かれて「ビジネス」「趣味」「キャンパスの思い出」といったトークテーマで交流しました。

大阪大学経済学部「留学帰国者成果発表会 兼 懸賞論文表彰式」が開催されました

2月17日(火)、大阪大学豊中キャンパス法経講義棟にて開催されました。経済学研究科長・佐々木勝氏の挨拶のあと、ブリティッシュコロンビア大学に留学した学生より成果発表がありました。続いて、懸賞論文表彰式が行われ、懸賞論文審査委員長で大学院経済学研究科教授の小野哲生氏から講評があったのち、最優秀賞2件、優秀賞2件、特別賞1件の表彰と各論文の概要発表がありました。

九州大学同窓会

<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/university/graduate/>

告知

九州大学女子卒業生の会「松の実会」 令和8年度総会・講演会

日時 5月31日(日) 14:00~17:30
場所 九州大学伊都キャンパス [I²CNER](#)
[第一研究棟内I²CNERホール](#)
テーマ 「元女子学生の未来会議」
講師

宮柱明日香氏(武田薬品工業(株)ジャパンファーマビジネスユニットプレジデント)
板垣奈穂氏(九州大学大学院教授、量子コンピューティングシステム研究センター副センター長)

参加費 2,000円(学生は無料)
申込 専用フォームよりお申し込みください。
申込期限 5月15日(金)
※詳細は [Webサイト](#) をご確認ください。

報告

関西同窓会講演会および 新年賀詞交歓会が開催されました

1月19日(月)、ハートンホテル北梅田にて開催されました。講演会では、医学研究院教授・二宮利治氏より、「疫学的視点から見る認知症発症予防の可能性」と題し、福岡県久山町で1985年に開始した認知症調査を踏まえ、認知症予防についてお話いただきました。賀詞交歓会では、2025年7月の総会で関西同窓会会長に就任した佐藤義雄氏(住友生命保険特別顧問)の挨拶の後、石橋達朗総長から九大の現在の取り組みについて紹介がありました。最後に、九大応援団OBの主導で学生歌「松原に」を斉唱し、お開きとなりました。



第28回関東支部総会 特別講演

2025年11月8日（土）ハイブリッド形式（KKRホテル東京・Zoom）

Contents

講演1 農学から発信される異分野融合・国際協働研究（土川 覚）

講演2 [食による前未病・超早期未病の予防・治療](#)（安達 貴弘）

セコイア会第28回関東支部総会での講演を元に、新しくご執筆いただいた内容です。

講演1 農学から発信される異分野融合・
国際協働研究

—Agricultural Spectroscopyの展開—

つちかわ きよる
土川 覚名古屋大学大学院生命農学研究科
森林・環境資源科学 教授
前研究科長・学部長

1. はじめに

生物や生物由来材料の機能や特性を解明することは、農学の重要な役割である。その際、迅速かつ非破壊で情報を得られる分光分析手法が広く利用されてきた。一般に、機器分析技術の基礎理論や解析手法は理学や工学から発信されることが多い。しかし、本稿で扱う近赤外分光法（NIR）は、各国の農業試験場や農学関連研究機関が中心となって発展

させ、実用化へと導いた稀有な（いや、風変わりな？）分析技術である。農学がその育成に深く関与してきた点に、大きな特徴がある。Agricultural Spectroscopy とも言うべき同法は、短時間・非接触で測定できる利点を活かして、農林水産物の品質評価に幅広く導入されている。本稿では、近赤外分光法の概要と農学領域での利活用についての未来展望について述べたい。

2. 近赤外光について

波長 800~2500 nm の近赤外領域における光の吸収や散乱を利用して分析する手法が、近赤外分光法である（図 1）。有機物質を構成する炭素・水素・酸素などの原子は、量子力学的に常に振動している。その基本的な振動（基準振動）は赤外域に位置するため、赤外光を照射すると特定の官能基が光を吸収し、その情報から分子構造を推定できる。一方、近赤外領域では、基準振動の倍音や結合音に由来する吸収が観測される。近赤外光の吸収は赤外光に比べて格段に弱い。このことは、試料を希釈せず、高濃度成分をそのまま非破壊で測定できるという利点につながる。とりわけ多水分の食品・農産物を測定対象にすると、水のモル

吸収係数が赤外域に比べて極めて小さいため、近赤外領域のスペクトル信号が有効に働く。

一方で、近赤外光は物質内部で強く散乱するため、スペクトルは重なりが多く、化学成分の吸収情報が“ぼやけて”しまうことも多い。そこで、統計学や多変量解析を取り入れ、膨大なスペクトル情報から意味のある特徴だけを抽出する「ケモメトリクス」と呼ばれる計量化学的アプローチが不可欠である。光学特性と数学的手法を組み合わせることで、曖昧な情報が精度の高い定量へと転換される。

また、近赤外光は比較的エネルギーが低いため、測定中に試料が損傷を受けることはほとんどない。安全・迅速・非破壊という利点を活か

近赤外分光法とその特徴

近赤外領域 (800~2500nm)

- ・赤外領域の基準振動の倍音・結合音による吸収帯
- ・吸収強度は赤外領域の1/1000程度



1. 統計的手法を駆使することにより、多成分が同時に測定可能
 - ・検量線を作成することによる相対定量分析
 - ・予測精度の高い検量線によるインプロセス計測の展開
2. 希釈、溶解などの前処理を行わずに測定することが可能（非破壊計測）
 - ・製造現場での迅速、簡便な測定が可能
 - ・製品、人体に及ぼす影響を回避

図 1 近赤外分光法の概要



し、この技術はすでに食品、薬品、化学工業などでオンライン成分分析として実用化されている。スーパーマーケットでよく見かける「糖度センサーで甘さをチェック云々」はその代表例である。水分や有機成分に由来する振動情報を扱う近赤外分光法は、1950年代までは重要視されていなかったが、1960年代、米国農務省による小麦タンパク質の非破壊測定成功が転機となった。水分を多く含む農産物との相性の良さもあり、農学分野がいち早くこの技術を受け入れ、発展させてきた。

3. 農学と近赤外分光学との関わり

以下では、著者が携わってきた農学領域における近赤外分光学の応用に関わる最近の研究例をいくつか紹介する。ここ数年は、「イメージング」、「AI」という技法を取り入れての新規研究領域に注力しているが、

これらには、中国、タイ、インドネシア、ベトナム、フィリピン等からの留学生や訪問研究者が大きく関わっている。農学ならではの国際協働研究体制があってこそその成果であることを強調したい。

3-1. 近赤外ハイパースペクトルイメージングの利活用

近赤外光を画像情報として取得できるハイパースペクトルイメージング (NIR-HSI) の進展により、従来は平均値として扱われてきた光学情報を空間分布として理解できるようになった。NIR-HSIにより、果実表面近傍の糖度分布を短時間で詳細に推定できる (図2)。選果や流通段階の高度化に加え、貯蔵中の品質低下や内部障害の早期検出を可能とし、フードロス削減にも寄与する。さらに、植物病害の可視化、食肉品質評価、機能性成分の定量など、食

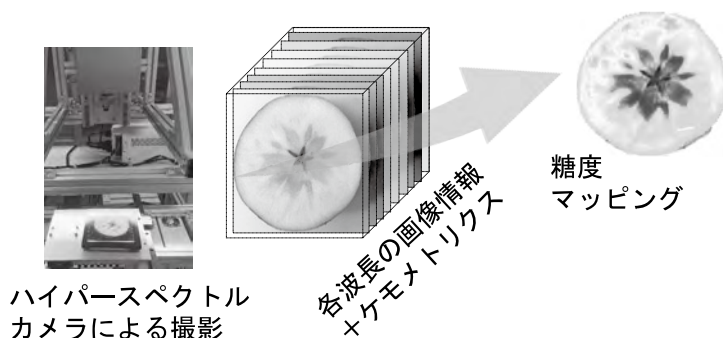


図2 近赤外ハイパースペクトルイメージングによるリンゴ糖度のマッピング

品・農産物全般へ応用が広がっている。品質の「見える化」は、科学的合理性を高めるだけでなく、消費者や社会の信頼基盤にも直結する。

3-2. 木材資源の高付加価値化を 目指した応用研究

木材は細胞構造が異方的で、水分が部位により偏在し、節や組織構造が強度に大きく影響する複雑な材料である。近赤外分光法および NIR-HSI によって、水分分布状況や強度の変動を非破壊で推定できるようになり、乾燥過程における自由水・結合水の移動解析、乾燥ムラに起因する割れ・変形の予測が可能となった。また、樹種判別や強度推定にも成果が得られている。森林資源は再生可能資源として注目される一方、その持続的利用には品質保証技術の確立が不可欠である。材質を理解したうえで用途ごとに最適配置することで、資源利用の効率化・高付加価値化が促される。

3-3. AI×近赤外分光が拓く 新たな認識基盤

近年の機械学習技術の進展により、分光データ解析は新たな段階を迎えた。従来は研究者が特徴量を選択していたが、深層学習をはじめとする AI 解析により、膨大なデータから自動的に特徴を抽出できるようになった。とくに、近赤外領域が内包

する試料成分の化学情報（スペクトルデータ）を活用することにより、米の品種判別、種子の発芽力推定、木材の樹種識別など、応用範囲は拡大している。

4. 終わりに

近赤外研究に四半世紀携わってきで強く感じるのは、本手法の限界を理解したうえで活用することの重要性である。近赤外分光法は、どんな微量成分でも、またどのような条件下でも“魔法の箱”のように高精度で推定できるかのように語られることがある。その期待が普及を後押ししてきた一方で、過度な誇張は失望を招き、結果として本手法への不信を生むことにもつながっている。どのような計測にも限界は存在する。装置特性（S/N 比など）、実測値の誤差、多変量解析モデルの妥当性、分光学的背景——これらを丁寧に吟味したうえで、控えめに予測精度を評価し、確かな成果を示す姿勢こそが研究者の責務であり、近赤外分光法の発展を支える基盤となる。



講演2 食による前未病・超早期未病の 予防・治療 ～農業から医療まで一体となつての 持続可能な健康長寿社会～

あだち たかひろ
安達 貴弘



東京科学大学国際医工共創研究院
未病制御学講座 准教授

子供のアトピーや発達障害、成人してからの生活習慣病も増え、さらには長寿社会となり認知症も社会的問題となっています。これらの原因として遺伝的な要因以外にも環境要因による微細な異常に起因した炎症が、素因となることがわかってきており、相互の各種疾患や神経発達症に相関があることも指摘されています。病気をより早期に検出できれば、我々により負担が少なく、様々な疾患や神経発達症を未然に防ぐことができ、健康寿命を延ばすことができます。最近では、病気の兆候を示す前（未病）を標的にした“未病の予防・治療”が謳われています。そのためには生体情報を高感度でモニタリングすることと、“未病の予防・治療”方法の開発が必要です。先制医療、precision medicine（個人の特性にあつた適切な医療）等、最先端の科学技術を用いた個人の正確な生体情報に基づく適切な医療が取りざたされていますが、これにはかなりの労力と費用が必要で、まだまだ

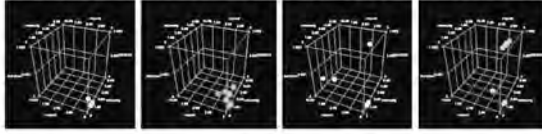
一般の人々への導入は難しいのが現状です。そこで我々は、より早期に簡便に生体内の微細な異常（超早期未病）を検出し、それを標的として、我々に負担が少ない予防・治療方法の開発を目指してきました。

免疫応答制御機能の解明

免疫細胞の動態のみならず、活性化までを生体内でモニターできる細胞系譜特異的なカルシウムバイオセンサー（YC3.60）マウスを世界に先駆けて樹立し、6D（x、y、z、時間、Ca²⁺シグナリング、細胞標識）生体イメージングを確立してきました。このシステムを利用し、生体内での免疫細胞の活性化、分化の様子をリアルタイムで可視化できます。また、このマウスを利用しての細胞内Ca²⁺シグナリングに着目した生体イメージングにより、病態を発症しなくても素因があること（前未病・超早期未病）が検出できることを見出しています。この系をさらに発展させ、アレルギー、ウイルス感



世界で最も早期の微細な異常（前未病）の検出
 独自に開発したカルシウムシグナルによる健康状態のモニタリングモデル



正常状態

前未病状態

病態発症
(未病)

慢性炎症
(病態)

↑
 世界で最も早期の
 微細な異常の検出系

↑
 既存の検出系



染、自己免疫疾患など各種疾患の発症、および病態の進行過程で起こっている事象の詳細な解明を行ってきました。

腸管センシングネットワークおよび臓器連関の解明

腸管は進化の過程を遡れば、我々生命体のプロトタイプであり、生命現象の根源をなす重要な器官です。腸管には免疫系、末梢神経系、内分泌系が集中しており、中枢神経系とも直接情報のやり取りをしています。口から摂取した食物、医薬品などが腸管でどのように認識されているのか、これまではブラックボックスでわかりませんでした。我々が世界で初めて確立した生体イメージングシステムにより、その応答を神経、免疫、あるいは内分泌細胞特異的にリアルタイムで可視化することができます。カプサイシン、乳酸菌などにより、腸管センシングのリアルタイム可視化に成功しています。これ

らの結果をもとに、それぞれのクロストーク、さらには腸-脳、腸-皮膚などの臓器連関を明らかにすることにより、我々が口から摂取したものが生体に及ぼす影響の機序を明らかにしてきました。

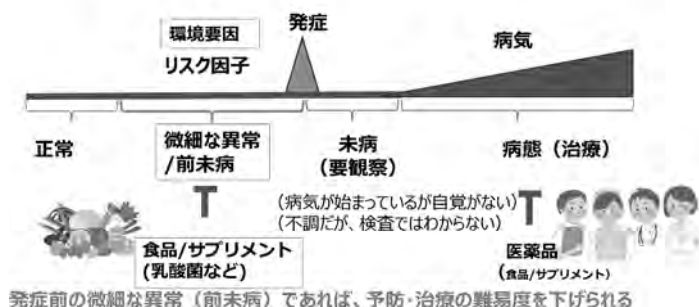
超早期未病の予防・治療法およびロバストネス増強法の確立

上記2つの研究を組み合わせ、超早期未病を標的とした食品、医薬品の開発、さらにはストレスに強く、病気になりにくい心身の健康を増強する食品、医薬品の開発を目指しています。

効果が期待される食品、天然物、並びにそれら由来の成分および化合物について、我々が確立した評価系を用いて、免疫系、神経系、内分泌を含む腸管上皮への影響を明らかにし、免疫系、腸管・皮膚バリア機能にもともと異常あるいは疾患の素因を持つモデルマウス系や食餌による肥満マウスモデル系を用いて、その



前未病・超早期未病の予防・治療



予防・治療方法、ロバストネス獲得法を開発しています。これまでに酢、乳酸菌、麴菌、魚、肉、小麦、また、米の品種、加工法、栽培法によって免疫および神経に及ぼす機能が違っていることを見出しています。これらの中に、アレルギー、自己免疫、認知機能などに改善がみられる食品も見つかっています。

超早期未病検出器の開発

現在、未病として定義されている段階は、既に病気が起こるところ、あるいはその直後からの自覚症状がないレベルの早期発見をターゲットとしています。いずれにしても質的な変化（遺伝子発現レベルの変化）が起こった後で、既に発症してしまっている状態です。我々はこれ

までの未病という定義よりさらに前の、発症にはまだ至っていない微細な変化（超早期未病あるいは“未病因子”）の検出方法の確立を目指しており、これらの標的であれば、食品などでも効果的に予防・治療できると考えられます。上記の基礎研究成果をもとに臨床応用を見据え、ヒトでの生活習慣病などの疾患や神経発達症の素因となる微細な異常を簡便に測定できる機器の開発を行っています。

上記を技術基盤として、農業から医療まで一体となつての持続可能な健康社会の実現を目的として、生体の微細な異常（前未病・超早期未病）を標的とし、それを食で予防・治療する Precision Food の確立を、企業、自治体などと連携し産学官民で進めています。

第 28 回関東支部総会については、[名古屋大学農学部・生命農学研究科同窓会（セコイア会）](#) [関東支部 Web サイト](#)をご覧ください。



キリンビール横浜工場見学記

こんにちは、学士会の堀です。1月17日(土)に有志7人でビール工場を見学してきました。工場の近くには、有名な生麦事件の石碑もあり、幕末以降の日本と外国のつながりを一同感じながら、明治以来の歴史あるビール工場に入りました。

こちらでは単なる見学だけではなく、体験もできる点が特徴です。まずビールの製造に使われている麦とホップを、実際に舌と鼻で体験しました。麦を3粒、口に含むと感じる仄かな甘味。麦をそのまま生で食べたことがなかったので新鮮な体験です。ホップの毬花を千切って鼻に近づけると、確かな苦味を感じます。ビールのあの独特の風味はホップ由来なのがよく分かります。

次は仕込釜を見学しました。子ども達のはしゃいで、我先に駆けていきます。「あまり奥まで行きすぎないでくださいー。ビールにされちゃいますよー。」

こんな時の係の方の誘導も手馴れたものです。仕込釜で麦を発酵させると、「もろみ」という麦のおかゆができます。もろみを濾過した順番に一番麦汁、二番麦汁と呼びます。そして美味しいビールを作るため、試行錯誤の末辿り着いたのが、一番麦汁だけを使用するという製法。これが「一番搾り」の名前の由来となっています。なるほど、一番搾りとはそういう意味だったのか、と長年の疑問が氷解しました。

ここまで商品名でプッシュされると、麦汁そのものに興味が湧くのが人情というもの。一番麦汁と二番麦汁を実際に飲んでみる体験もできました。交互に飲むと、確かに一番麦汁の方が甘みが強く、香りもより際立っているのを感じられました。

そしていよいよ、待ちに待った試飲タイムです。最大で3種類のビールを試飲でき、飲み比べもできます。味は言わずもがな、ビールができる工程を知った上で飲むと、より美味しく感じられるから不思議です。美味しいビールの注ぎ方もレクチャーしてもらい、至れり尽くせりな見学会でした。

最後に…上記は筆者がビールを3杯飲んで、ほろ酔いの時の朧げな記憶を頼りに書いたものです。工場内ではしゃいでいた子ども達は、ひよっとしたらビールの妖精だったのかもしれない。



生麦事件碑を背景に



麦とホップを味わう



みんなで乾杯

(堀智裕 会員 北大・理修・理・平 26)

会員著作物紹介

『企業オーナー・富裕層の税務・法律相談 事業承継・M&A・訴訟対策・国際相続』松岡史朗（編著）

「ドラマのような緊張感」ではなく、「安定した豊かな日常」を実現するために――。

本書は、企業オーナー・富裕層が直面しがちな税務・法律上の課題について、紛争を未然に防ぎ、経済的利益を合理的に最大化することを目的に、「タックスプランニング」と「ファミリーガバナンス」の視点から解説します。第1部では税務対策、第2部では訴訟リスク、第3部では国際相続、第4部では第三者への事業承継・M&Aを取り上げ、実務の現場で問題となりやすいポイントを具体的に整理。

将来の不安を減らし、冷静で持続可能な意思決定を行うための一冊です。

（共著：吉田正毅 会員 阪大・法務博・平19）



金融財政事情研究会



3DCG モデル
バーチャルツアー
復元 CG
公開中

学士会館デジタルアーカイブ

Gakushi Kaikan Digital Archive

クリック！



Web版『NU7』では、原稿を正会員・学生会員の皆様から募集しています。会員以外の方にもWeb公開中です。たくさんのご投稿をお待ちしています。

表紙写真

- ・写真のテーマは自由、2122ピクセル×2977ピクセル以上のカラー・縦位置の写真を希望しています（冊子サイズはA5判・天地210mm×左右148mm）。
- ・目次頁に、「撮影場所・ご希望のタイトル・氏名・出身大学・学部・卒年」を掲載いたします。

会員通信

会員著作物紹介	著作名・著作者・紹介文（200字以内）・著作物表紙写真をお送りください。
会員ギャラリー	絵画・生け花・陶器などの作品写真をお送りください（最大3点まで）。写真作品はこちらでも掲載できます。
会員活動報告	会員同士の交流やイベントの報告内容など（800字以内）・写真（1～2点）をお送りください。
会員の声	テーマは自由、1,000字以内（写真掲載希望の場合、写真は1～2点・800字以内）にまとめて、お送りください。

※誌面から、出版社の書籍紹介ページ（Webサイト）やご自身のSNSなどにリンクできます。URLを記載してください。

同窓会「開催告知」及び「開催報告」

開催告知	同窓会名称・開催日・開催場所・連絡先または案内ページ（Webサイト）のURLをお送りください。
開催報告	開催された会を報告する内容の文章（200字以内）・写真（1～2点）あれば詳細報告ページ（Webサイト）のURLをお送りください。

投稿にあたって

氏名・会員番号（又は、出身大学・学部・卒年）を明記の上、学士会事務局までメールにてお送りください。

送付先

koho@gakushikai.or.jp

- ※投稿の受信確認及び、掲載可否の連絡はいたしません。
- ※掲載作品・掲載時期は『NU7』編集委員会で決定します。選考に関する質問にはお答えできません。
- ※誌面の都合上、編集させていただく場合がございます。
- ※原稿（データを含む）は原則として返却いたしません。
- ※政治・宗教・団体や個人への毀誉褒貶に関わる投稿は受け付けできません。また、差別表現などは修正させていただく場合がございます。
- ※会員通信の著作権は、本会に帰属します。



学士会主催

ハイブリッド講演会

〔「夜講演会」・「昼講演会」〕

(2026年5月～7月)

〔場所〕法曹会館

〔参加費〕3,000円

※学士会館休館中も、食事提供無し「ハイブリッド講演会」(来場+オンラインライブ配信)を、随時、開催しております。

※「ハイブリッド講演会」(来場+オンラインライブ配信)は、「**法曹会館**」(東京都千代田区霞が関1-1-1)にて、夜講演会は18時30分、昼講演会は13時30分より開催しています。

会館内にはレストランもありますので、講演前のお食事などにぜひご利用ください。

なお、「法曹会館」への来場が難しい方は、ご自身のPCやスマホでも視聴が可能な《オンラインライブ配信》をご利用ください。

◎ハイブリッド 夜講演会 (18:30～講演/19:30～質疑応答)

5月は休会です。

6月10日(水) 野依 良治氏 (日本学士院長/名古屋大学特別教授)

「覚醒せよ、わが国の科学技術界」

1961年京都大学工学部卒業。1963年京都大学大学院工学研究科修士課程修了。京都大学工学部助手、名古屋大学理学部助教授を経て、1972年名古屋大学理学部教授。1997年名古屋大学大学院理学研究科長・理学部長。2003年独立行政法人理化学研究所理事長。2004年名古屋大学特別教授。2015年国立研究開発法人科学技術振興機構研究開発戦略センター長。2025年より現職。中日文化賞、センテナリーメダル、カークウッド賞、日本学士院賞、文化功労者、ファイサル国王国際賞、文化勲章、ウルフ賞、ロジャー・アダムス賞、ノーベル化学賞など受賞歴多数。

7月10日(金) 秋山 訓子氏 (朝日新聞記者)

「高市政権と政治環境」

1992年東京大学文学部卒業後、朝日新聞社入社。横浜総局、政治部記者(首相官邸、自民党、外務省、民主党などを担当)、AERA編集部などを経て、2011年LSE(ロンドン政治経済学院)修士課程修了。2013年政治部次長。2015年編集委員。2023年筑波大学にて博士号(社会科学)取得。2度目となるGLOBE編集部で、政治や多様性、市民社会を中心に取材。『不思議の国会・政界用語ノート 曖昧模糊で日本が動く』、『女は「政治」に向かないの?』、『コーヒーを味わうように民主主義をつくりこむ 日常と政治が隣り合う場所』、『女性政治家が増えたら何が変わるのか』など、著書多数。

◎ハイブリッド 昼講演会 (13:30～講演/14:30～質疑応答)

5月20日(水) 坪田 敏男氏 (北海道大学名誉教授/北海道大学大学院獣医学研究院招へい教員)

「謎多きクマの生態と人との共存」

1983年北海道大学獣医学部卒業。1988年北海道大学大学院獣医学研究科



博士課程修了後、岐阜大学農学部獣医学科助手。イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校客員研究員、岐阜大学農学部助教授を経て、2001年教授。2007年北海道大学大学院獣医学研究院教授。2023年北海道大学総合博物館館長。2026年北海道大学定年退職。家畜繁殖学会賞（島村賞）、日本獣医学会賞、第78回北海道新聞文化賞（学術部門）、令和6年度北海道社会貢献賞（国際交流・協力功労者）を受賞。

6月22日（月） 春名 展生氏（東京外国語大学長）

「外国語教育の新たな課題－AI時代と多文化共生時代のなかで－」

1997年東京大学工学部卒業。2000年東京大学大学院総合文化研究科修士課程修了。2014年博士（学術）（東京大学）。東京外国語大学大学院国際日本学研究院講師、准教授、国際日本学部学部長補佐を経て、2023年副学長（国際、国際教育等担当）。2024年国際日本学研究院教授。2025年から現職（※国立大学最年少の50歳で就任）。

7月21日（火） 小山 真人氏（静岡大学名誉教授／静岡大学防災総合センター客員教授）

「未定」

詳細は、[学士会公式サイト](#)または事務局まで。

TEL：03-6665-9685（平日9:00～17:00） MAIL：koenkai-info@gakushikai.or.jp

告知



『學士會会報』978号（2026年5月発行）のご案内

※都合により、内容が変更になる場合があります。

2026年5月発行の『學士會会報』978号は、以下の内容を掲載しています。

■講演録■

「大相撲 次の百年に向けて」（新年祝賀会講演）

芝田山 康氏（第62代横綱大乃国）

「令和時代の歴史小説の現在地と可能性」（1月ハイブリッド昼講演）

澤田 瞳子氏（作家）

「『富岳NEXT』が切り拓く未来」（11月ハイブリッド夜講演）

近藤 正章氏（理化学研究所計算科学研究センター次世代計算基盤開発部門
部門長、慶應義塾大学理工学部教授）

「有人宇宙活動を支える医学管理－月面探査や民間低軌道活動に向けて－」

（12月ハイブリッド夜講演）

横田 航志氏（元JAXAフライトサージャン（航空宇宙医師）、筑波大学附属病院救急・集中治療科医師）

■随想■

「学園百周年に考えること」

田村 哲夫氏（渋谷教育学園学園長、前理事長・渋谷／幕張中高校長）

その他の内容につきましては、[学士会公式サイト](#)からご確認ください。



告知 学士会主催



第 63 回関西茶話会

14:30～講演会・質疑応答

[場 所] 中央電気倶楽部
[参加費] 3,000 円

2026 年 6 月 13 日 (土) 野村 玄氏 (大阪大学大学院人文科学研究科教授)

「本能寺の変の決行過程をめぐる諸問題」

2004 年 3 月、大阪大学大学院文学研究科博士後期課程修了、博士 (文学) (大阪大学)。防衛大学校人文社会科学群講師、同准教授などを経て、2025 年 1 月より現職。

専門は日本近世政治史。



詳細は、『學士會會報』978 号、[学士会公式サイト](#)または関西事務所まで。

※公式サイトへの掲載は、開催日 3 週間前になります。

TEL:075-771-1191 (火水木金 10:00～16:00) MAIL:kansai-info@gakushikai.or.jp

告知 学士会主催



(仮)学士会特別プログラム！ 鉄道検車区見学会

[場 所] 京浜急行電鉄 金沢検車区
(神奈川県横浜市金沢区)

13:00
～16:00 [参加費] 1人6,000円

2026 年 6 月 27 日 (土) (予定)

“京急に最も詳しい男”“伝説の広報”とメディアでも有名な飯島学氏 (京浜急行電鉄株式会社鉄道統括部) より、普段立ち入ることのできない列車検査を行う施設等を案内、解説いただく「鉄道検車区見学会」を開催いたします。

今回は“学士会特別プログラム”として行っていただきます！

皆さまお誘い合わせのうえ、ぜひご参加ください。

詳細は、[学士会公式サイト](#)または事務局まで。

TEL: 03-6665-9685 (平日 9:00～17:00) MAIL: jigyuu@gakushikai.or.jp

告知 学士会主催



若手茶話会 (ドカフェ・読書会・ミニプレゼン会)

[形 態] 対面または
オンライン
[参加費] 無料

2026 年 5 月 30 日 (土)・6 月 28 日 (日)

参加者を 45 歳以下の若手会員に限定した交流会「ドカフェ」「読書会」「ランチ会」や、同世代のメンバーがプレゼンターとして知識を披露する「ミニプレゼン会」を開催しています。



詳細は、[学士会公式サイト](#)または事務局まで。

TEL: 03-6665-9686 (平日 9:00～17:00) MAIL: doukoukai@gakushikai.or.jp





「第61回関西茶話会」開催報告

[場 所] 中央電気倶楽部

2026年2月14日(土) 14:30~16:30

大阪公立大学大学院文学研究科教授の菅原 真弓先生を講師にお迎えし、「風俗画から浮世絵へ〜浮世絵の成立〜」という演題で、講演会を開催しました。

菅原先生の専門分野は日本美術史で、特に江戸時代の終わりから明治期における媒体(主に版画、浮世絵版画など)について研究されていますが、今回の講演では、浮世絵の誕生がザビエルの来航による南蛮美術の影響を受けた西洋との出会いであったこと、その後に出現する花見、芝居小屋、遊女などを描いた風俗画を経て浮世絵が誕生する経緯についての解説がありました。また、浮世絵における「肉筆浮世絵」と「浮世絵版画」の媒体や制作方法の違い、特質などについても説明があり、過去や未来よりも現世を追求「浮世」こそが浮世絵の本質であるという興味深い説明が併せてありました。

当日の講演録は、2026年7月1日公開の『NU7』No.66に掲載予定です。



普通会员の皆さまへ『デジタル会員証』移行のご案内



従来、普通会员の皆さまに3月号会報に同封してお送りしていた『紙の会員証』ですが、発送の遅延や発送費用の大幅な上昇が見込まれることもあり、令和8(2026)年度より『紙の会員証』は廃止し、『デジタル会員証』へ完全移行することになりました。普通会员の皆さまにはご不便をおかけしますが、何卒ご了承くださいいただけますようお願い申し上げます。

『デジタル会員証』は、「Web名簿閲覧システム」内にある「会員証」となります。「Web名簿閲覧システム」のログイン方法及び『デジタル会員証』提示方法については、[本誌37・38頁「学士会『Web名簿閲覧システム』ご利用の手引き」](#)をご覧ください。

なお、終身会員の皆さまには引き続きカード型(ホログラム入り)の『終身会員証』を発行いたします。普通会员から終身会員への切替募集は、本年11月1日より開始予定でございますので、終身会員へのお切替もぜひご検討ください。

お問い合わせは、事務局まで。

TEL: 03-6665-9683 (平日9:00~17:00) MAIL: member@gakushikai.or.jp





WebVR
公開中

学士会館デジタルアーカイブ

Gakushi Kaikan Digital Archive

3DCG モデル



バーチャルツアー



復元 C G



学士会館は、旧帝国大学（現在の国立七大学）出身者からなる学生会会員の親睦と知識交流を目的とした倶楽部建築として、1928（昭和3）年に誕生しました。「学士会館デジタルアーカイブ」では、360°動画、バーチャルツアーといった VR コンテンツを通じて、学士会館の歴史や空間を紹介しながら、学士会館の魅力を紐解いていきます。

WebVR を体験する



Gakushi Kaikan Digital Archive (English)

Gakushi Kaikan was founded in 1928 as a clubhouse for members of Gakushikai, an association of graduates from former Imperial Universities, to foster camaraderie and intellectual exchange. This archive aims to relay the charm of Gakushi Kaikan by showcasing its history and spaces through VR content such as 360° videos and virtual tours.

学士会館数字档案馆（简体中文）

学士会館诞生于 1928 年，是一座俱乐部建筑，旨在促进由前帝国大学毕业生组成的学生会会员之间的友谊和知识交流。通过 360 度视频、虚拟游览等 VR 内容，在介绍学生会馆的历史和空间的同时，解读学生会馆的魅力。

學士會館數位典藏（繁體中文）

學士會館建立於 1928 年，是作為促進來自舊帝國大學出身的學士會會員之間的親睦與知識交流為目的，所設立的一座俱樂部建築。透過 360°影片和虛擬導覽等 VR 內容，介紹學士會館的歷史和空間，同時幫助觀眾深入了解學士會館的獨特魅力。

가쿠시카이칸(学生会館) 디지털 아카이브 (한국어)

가쿠시카이칸은 옛 제국대학(帝国大学) 출신 학사회 회원들의 친목과 지식 교류를 목적으로 한 클럽 건축물로서 1928년에 탄생했다. 360° 영상, 가상투어와 같은 VR 콘텐츠를 통해 가쿠시카이칸의 역사와 공간을 소개하며, 가쿠시카이칸의 매력을 보여준다.

Les archives numériques du Gakushi Kaikan (Français)

Le Gakushi Kaikan a été inauguré en 1928 en tant que bâtiment pavillonnaire destiné à favoriser la convivialité et l'échange de connaissances entre les membres du club Gakushi, formés par les diplômés des Anciennes Universités Impériales. À travers des contenus VR tels que des vidéos à 360° et des visites virtuelles, ces archives présentent l'histoire et les espaces du Gakushi Kaikan tout en dévoilant son charme unique.

制作：学生会館デジタルアーカイブチーム

令和6年度文化資源活用事業費補助金（文化財多言語解説整備事業）



学士会「Web名簿閲覧システム」 ご利用の手引き

学士会

検索

<https://www.gakushikai.or.jp/>から『Web名簿閲覧システム』に移動して、配布済みのユーザーID/パスワードでログインしてください。

① 会員向けメニュー「Web名簿閲覧システム」をクリック



② 「ユーザーID/パスワード」を入力後、ログインをクリックしてください。

初回ログイン時には、メールアドレスと生年月日の登録が必要になります。

- ✓ ログイン後、ユーザーID/パスワードは自由に変更できます。
- ✓ 万一、変更したパスワードを忘れてしまった場合は、登録済のメールアドレスと生年月日で即時に再発行を受けることができます。

- ✓ セキュリティはシステム管理者にて充分に守られますが、各会員におかれましても、ご自身のID/パスワードは確実に保管していただきますようお願いいたします。

③ Web名簿閲覧システムには主に以下のような機能があります。

- ✓ ご自身の登録情報の確認と変更（プロフィール確認・変更）
- ✓ 学士会会員の検索・閲覧（Web版氏名録）
学士会会員の情報のうち、開示可とされたものを検索・閲覧することができます。
- ✓ 学士会会員であることの証明（デジタル会員証）※スマートフォン画面のみ



④ プロフィール確認と変更



〈編集画面〉

- 左メニュー「プロフィール確認・変更」からご自身のご登録状況を確認できます。
- 住所、勤務先などの情報はご自身でご変更いただけますようお願いいたします。
- 登録情報を会員にどの程度開示して良いか、ご自身で設定してください。「開示」「非開示」の設定ができます。

⑤ Web版氏名録の閲覧

左メニュー「会員検索」より、卒業大学・卒業・修了年、氏名、住所、勤務先等を検索し、本人が開示を許可した情報を閲覧できます。



⑥ デジタル会員証として使用

スマートフォンの画面を提示することで、「デジタル会員証」となります。
(普通会員の方向け。終身会員の方は、終身会員証をご利用ください)



〈会員証画面〉

Web名簿閲覧システム
QRコード↓



ユーザーID／パスワードが不明な方は、学士会事務局 (member@gakushikai.or.jp) まで、お問い合わせください。



七大学生協 書籍ランキング BEST 5



期間：2026年3月1日～2026年3月31日

*書名から出版社の書籍案内ページにリンクしております

北海道大学生協 書籍部 Clark

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 思考の整理学	外山滋比古	筑摩書房
	2 フェミニズム	江原由美子	岩波書店
	3 ウィトゲンシュタイン 言語の限界	飯田隆	筑摩書房
	4 過疎ビジネス	横山勲	集英社
	5 ユダヤ人の歴史 古代の興亡から離散、ホロコースト、シオニズムまで	鶴見太郎	中央公論新社
一般書	1 北大と北大生の150年	北海道大学150年史編集室(編)	北海道大学出版会
	2 北海道の生活史	岸政彦(監修)、北海道新聞社(編)	北海道新聞社
	3 ゼロからわかる大学生のためのレポート・論文の書き方	石井一成	ナツメ社
	4 すこい古典入門 ウィトゲンシュタイン論理哲学論考の基本 言語化できないことに意味はないの?	古田徹也	中央公論新社
	5 アイヌがまなざす 痛みの声を聴くとき	石原真衣、村上靖彦	岩波書店

東北大学生協 川内購買書籍部

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 物語化批判の哲学 (わたしの人生)を遊びなおすために	難波優輝	講談社
	2 カウンセリングとは何か 変化するということ	東畑開人	講談社
	3 思考の整理学	外山滋比古	筑摩書房
	4 福音派 終末論に引き裂かれるアメリカ社会	加藤善之	中央公論新社
	5 美学への招待 増補版	佐々木健一	中央公論新社
一般書	1 TOEIC® L&R TEST 出る単特急 金のフレーズ	TEX 加藤	朝日新聞出版
	2 「ヨシエさんの写真」に関する文書群	厩谷化月	KADOKAWA
	3 学振申請書の書き方とコツ DC/ PD 獲得を目指す若者へ	大上雅史	講談社
	4 青天	若林正恭	文藝春秋
	5 フリードリヒ・キットラーの理論 筆記、感覚、数	梅田拓也	東京大学出版会

東京大学生協 本郷書籍部

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 プロジェクト・ヘイル・メアリー 下	アンディ・ウィアー(著)、小野田和子(訳)	早川書房
	2 プロジェクト・ヘイル・メアリー 上	アンディ・ウィアー(著)、小野田和子(訳)	早川書房
	3 明六社 森有礼、西周、福澤諭吉らが集った知的結社	河野有理	中央公論新社
	4 現代戦争論 ロシア・ウクライナから考える世界の行方	小泉悠	筑摩書房
	5 思考の整理学	外山滋比古	筑摩書房
一般書	1 アカデミアの泳ぎ方 研究の世界に生きるための哲学と実践	谷内江望	羊土社
	2 経済学を味わう 東大1、2年生に大人気の授業	市村英彦、岡崎哲二、佐藤泰裕、松井彰彦(編)	日本評論社
	3 生成 AI を活用したレポート・論文の書き方	伊藤貴之	慶應義塾大学出版会
	4 たとえば「自由」はリパティカ 西洋の基礎概念とその翻訳語をめぐる6つの講義	渡辺浩	岩波書店
	5 すこい古典入門 ウィトゲンシュタイン論理哲学論考の基本 言語化できないことに意味はないの?	古田徹也	中央公論新社

名古屋大学生協 Booksフロンテ

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 思考の整理学	外山滋比古	筑摩書房
	2 プロジェクト・ヘイル・メアリー 下	アンディ・ウィアー(著)、小野田和子(訳)	早川書房
	3 プロジェクト・ヘイル・メアリー 上	アンディ・ウィアー(著)、小野田和子(訳)	早川書房
	4 まず牛を球とします。	柞刈湯葉	河出書房新社
	5 物語化批判の哲学 〈わたしの人生〉を遊びなおすために	難波優輝	講談社
一般書	1 アカデミアの泳ぎ方 研究の世界に生きるための哲学と実践	谷内江望	羊土社
	2 多重ゼータ値入門	金子昌信	岩波書店
	3 AI・データ駆動型創薬研究 マルチオミクス×ケモインフォマティクスでより確実な治療標的を見つけ、薬をデザインする	柚木克之、山西芳裕(編)	羊土社
	4 Nature 流 ライティング技術	金澤輝代士	森北出版
	5 量子ゆらぎの物理 熱ゆらぎと量子ゆらぎを再考する	山中由也	森北出版

京都大学生協 ブックセンタールネ

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 古文と漢文 書き言葉の日本語史	田中草大	筑摩書房
	2 プロジェクト・ヘイル・メアリー 上	アンディ・ウィアー(著)、小野田和子(訳)	早川書房
	3 カウンセリングとは何か 変化するということ	東畑開人	講談社
	4 福音派 終末論に引き裂かれるアメリカ社会	加藤喜之	中央公論新社
	5 成瀬は天下を取りに行く	宮島未奈	新潮社
一般書	1 京大マガジン0号「失敗」	京都大学総合研究推進本部(編・発行)	ミシマ社
	2 KPZ 普遍クラスの物理学 成長現象から広がるゆらぎの普遍法則	須藤彰三、岡真(監修)、竹内一将(著)	共立出版
	3 深層学習 上 基礎と概念	Christopher M. Bishop, Hugh Bishop (著)、榎嘉敏弘(訳)	丸善出版
	4 京大 1969 「自由の学風」の闘争史	松本卓也、福家崇洋、渡辺恭彦(編)	青土社
	5 現代社会を生きるための AI×哲学	谷口忠大、鈴木貴之、丸山隆一	講談社

大阪大学生協 書籍部 豊中店

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 思考の整理学	外山滋比古	筑摩書房
	2 戦後史 1945-2025 敗戦からコロナ後まで	安岡健一	中央公論新社
	3 古文と漢文 書き言葉の日本語史	田中草大	筑摩書房
	4 フェミニズム	江原由美子	岩波書店
	5 懐疑論 古代ギリシアからデカルト、陰謀論まで	古田徹也	中央公論新社
一般書	1 多重ゼータ値入門	金子昌信	岩波書店
	2 量子ゆらぎの物理 熱ゆらぎと量子ゆらぎを再考する	山中由也	森北出版
	3 学振申請書の書き方とコツ DC / PD 獲得を目指す若者へ	大上雅史	講談社
	4 裁判制度のパラダイムシフトⅡ	笹田栄司	判例時報社
	5 憲法 人権編	柴田憲司、村山健太郎、横大道聡	弘文堂

九州大学生協中央図書館店+皎皎舎店

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 思考の整理学	外山滋比古	筑摩書房
	2 自由民主主義とは何か	田中拓道	筑摩書房
	3 カウンセリングとは何か 変化するということ	東畑開人	講談社
	4 古文と漢文 書き言葉の日本語史	田中草大	筑摩書房
	5 福音派 終末論に引き裂かれるアメリカ社会	加藤喜之	中央公論新社
一般書	1 TOEIC® L&R TEST 出る単特急 金のフレーズ	TEX 加藤	朝日新聞出版
	2 公式 TOEIC® Listening & Reading 問題集 12	ETS	国際ビジネスコミュニケーションス協会
	3 TOEIC® L&R TEST 文法問題 での 1000 問	TEX 加藤	アスク出版
	4 令和 8 年度試験完全対応 公務員試験 速攻の時事	資格試験研究会(編)	実務教育出版
	5 アカデミアの泳ぎ方 研究の世界に生きるための哲学と実践	谷内江望	羊土社



半年ほど前から予約をして楽しみにしていたエジプト旅行の前日、アメリカとイスラエルがイランに先制攻撃をしかけた。翌朝、ドバイ空港は閉鎖され、ツアーも中止かと思われたが、成田-カイロの直行便だったため予定通り行って帰ってくる事ができた。エジプト滞在中は、日々のニュース以外戦争を感じることはなかったが、翌々日、ドバイ経由で同じ行程のツアーに参加した日本人が70人ほど私たちと同じホテルに足止めされていると聞いた。パッケージツアーの場合、不測の事態による帰国便のキャンセルや、遅延で生じた現地の宿泊費、代替航空券の費用は原則として旅行者の自己負担になる。又聞きだが、あの時点で日本に帰ろうとすると、ヨーロッパ以外ではイスタンブール、中国のいずれかを經由し日本のどこかの空港に到着し、費用は100万円とのことだった。

帰国して2週間ほど経ち、朝刊に丹羽宇一郎氏の著書に関する記事が掲載されていた。『Z世代は戦後初めて銃をとる世代になるかもしれない』は大げさではないと感じた。

(編集委員：佐藤千恵子)

3月23日から子供が春休みに入ったので、恒例の春スキーに行ってきた。ゲレンデは標高2,000mの高山にあるので4月まで滑ることができるという、春スキーに最適な名所である。いつもは3月だとまだパウダースノーで、滑るとキュッキュと快適な音がして粉雪が舞い散るのに、今年はなんと既にシャーベット状態でザリザリと不穏な音がして、さらに所々がアイスバーンになっている。結構うまいスキーヤーもスノーボーダーも、回転したりジャンプしたり見事なのだが、この凍り付いた雪面に転倒していた。今まで20年以上このスキー場に通ってきたが、こんなひどい雪質は初めてだ。いよいよ地球温暖化の影響がこんなところにも顕著に現れてきたのだと実感した。

スウェーデンのグレタ・トゥンベリさんのように、真剣に環境保護の運動をしなくてはと反省して帰ってきた。しかし一つ良かったのは、温暖化のせいかわりに道でキツネに出会ったことだ。

(編集委員：田村恵美子)

個人主義が台頭し、世界が分断されようとしていることについて非常に残念に思っております。これからのAIによる生産性拡大やエネルギー問題の解消に向けた健全な成長を皆で成し遂げれば、限られたパイを奪い合う必要などなくなる世界が来ると私は信じているのですが。逆に私より優秀な管の世界のリーダー達はそれらを想像出来ない訳がないと思うのですが、我々庶民の知らない何等かの重大な問題や優先すべき事項があるのでしょうか？既に先進国の現代人は十分な食料と衣服、住処も問題なく、インターネットによる教育なども成し遂げている状況において、これ以上何を求めるのか本当にわからない。戦争まで起こして何を得られるのだろうか。それぞれの立場で色々な意見があるのだとは思いますが、この2000年代に戦争を起こした張本人というレッテルが残ること以上の汚名はないと考えてほしいなあと思う。

(編集委員：吉積礼敏)

NU7 第65号

2026年 5月1日 発行

編集兼
発行人

大垣 眞一郎

発行元

一般社団法人学士会

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-2-2

住友商事竹橋ビル2階

TEL：03-6665-9681 ※移転しました※

HP：<https://www.gakushikai.or.jp/>  

MAIL：koho@gakushikai.or.jp

製 作

大日本法令印刷株式会社

国立七大学(北大・東北大・東大・名大・京大・阪大・九大)の
卒業生・学生・教員からなる会員数約4万人の総合同窓団体

学士会 学生会員 募集中

登録料・会費無料!



学士会 学生会員制度とは

1886年の創立以来、学士会はさまざまな文化活動・交流活動・社会貢献活動を続けています。
学生会員制度は在学中のみなさんを、先輩である学士会会員が応援する制度です。
学士会正会員のためのコンテンツに加え、学生会員向けプログラムを特別に提供しています。

入会の
メリット

交流
イベントへ
ご招待

OB・OG
への
就職相談

提携
サービスが
会員価格

特典付
メルマガ
配信

学生会員
限定
アルバイト



一般社団法人 学士会

竹橋事務所(仮移転先)
〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-2-2 住友商事竹橋ビル2階
(登記上の所在地: 〒101-8459 東京都千代田区神田錦町3-28)

学生会員制度の詳細
新規登録はこちらから >



目次



脈々と、受け継がれる叡智。

GAKUSHIKAI
UNIVERSITY ALUMNI ASSOCIATION

学士会とは

学士会は国立七大学（北大・東北大・東大・名大・京大・阪大・九大）の卒業生・学生・教員約4万人からなる総合同窓団体です。

学士会の発端は、明治19（1886）年4月に開かれた東大初代総理・加藤弘之先生の謝恩会（右写真）でした。会の参加者のあいだに、今後もこのような親睦の会を続けたいという気運が高まり、同年7月、学士会が創立されました。

約140年の歴史を持つ学士会は、現在、七大戦特別協賛をはじめとした七大学への支援や七大学同窓団体との連携のほか、[会員向けにさまざまなサービス](#)を展開しています。



会員資格

七大学の卒業生・教職員・学生

※詳細は、学士会公式サイト「[情報公開](#)」の[定款](#)をご覧ください。

※学生の方は、[学生会員](#)への登録となります（会費無料）。

会費

入会金なし・年会費 4,000円

※学士会事業年度は4月1日～翌3月31日。

※新卒限定の[会費優待制度](#)や会費一括納入の[終身会員制度](#)もあります。

主な会員サービス

明治20（1887）年創刊の会報誌ならびに情報誌の刊行
知的好奇心を刺激する講演会・イベント開催
趣味や交友関係が広がる同好会・交流会の支援
幅広いライフイベントで利用できる会員優待
会員倶楽部施設「学士会館」運営
※2030年頃まで閉館（2026年5月現在）※
など



一般社団法人 学士会

北大・東北大・東大・名大・京大・阪大・九大
卒業生のためのアカデミック・コミュニティ・クラブ

入会を
申し込む



目次